



FILDER Rise 電気から移行されるお客様へ

第2版 2024年12月 3日

ご注意

- ・本説明書の著作権はダイキン工業株式会社が保有しています。
- ・本説明書の全部または一部を、ダイキン工業株式会社の書面による許可を得ることなく複写、複製、転用することはできません。
- ・このソフトウェアおよび本説明書は、本製品の使用許諾契約書に基づいて使用することができます。
- ・本説明書の記載内容は予告なく変更することがあります。
- ・本説明書の内容には万全を期しておりますが、万一ご不明な点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- ・Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標です。
- ・Luminous Planner は、パナソニック株式会社の登録商標または商標です。
- ・その他、本説明書に記載されている会社名、製品名は、一般に各社の登録商標または商標です。

Copyright© 2021-2024 DAIKIN INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

目次

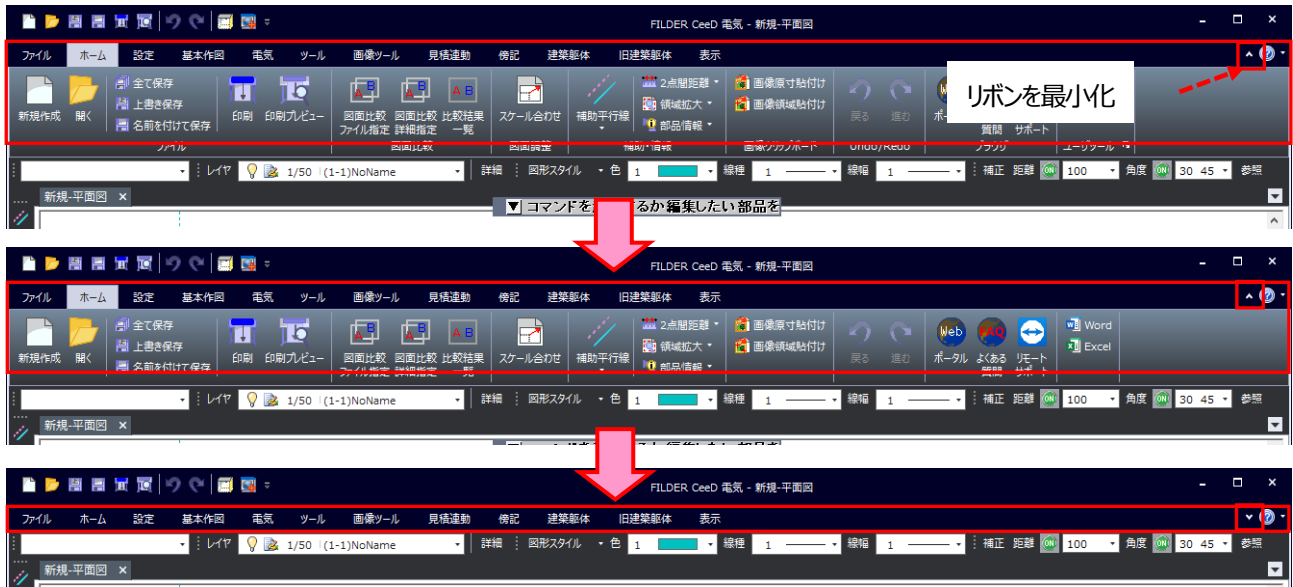
リボン、パネルの表示非表示.....	1	電気シンボルの負荷容量付加・編集.....	11
ツールバー.....	1	回路情報付加・編集.....	11
レイヤツールバー.....	2	盤図作成.....	12
スタイルツールバー.....	2	青焼き補正.....	13
コマンドプロパティ.....	2	建築躯体が躯体トレースの作図方法になりました.....	14
プロパティ.....	3	トレースした壁への開口部配置.....	14
図面タブ.....	3	図面比較.....	14
2画面对応.....	4	アイソメ部品表の接続工法・締込方向.....	15
マウスホイールでの拡大・縮小.....	4	BOX・円柱の3D形状登録.....	15
定期保存.....	4	印刷レイアウト.....	15
マウスの方向で座標入力.....	4	複数レイアウトの印刷.....	15
線種の登録.....	5	印刷色反転.....	15
色の設定方法.....	5	3Dでの移動.....	16
シートの表示状態を登録・呼出し.....	5	工程表ツール.....	16
シートのグループ登録.....	5	画面スクロール.....	17
複層階のFL 高さ基準.....	6	よくある質問.....	17
サイズ記号の階表示.....	6	ユーザツール.....	17
文字の均等割り付け.....	6	CeeD のファイルを Rise で開く.....	17
寸法線（連続）の配置.....	7	DWG/DXF 読み込み時のメモリ削減.....	17
文字コードで Unicode を採用.....	7	IFC ファイルの読み込み.....	17
ラベルの表示基点.....	8	画像を線分に変換.....	18
回転ハンドル.....	8	文字に置換.....	18
伸縮のコントロールポイント.....	8	Windows タブレットに対応.....	18
ハッチング・塗りつぶしの形状変更.....	8	よく使う図面ファイルを固定する.....	18
補助線削除.....	8	ファイラーの廃止.....	19
シンボル一括配置.....	8	リモートサポートボタン.....	19
シンボルの塗りつぶし.....	9	レイヤの非表示・表示コマンド.....	20
シンボルの接続位置.....	9	レイヤの表示・編集状態の登録・呼出.....	21
シンボルの線固定.....	9	隠線状態の自動更新機能.....	23
パナソニック照明.....	9	隠線処理機能の一般図形対応.....	23
電線管.....	9	図形の表示順入替.....	24
コンクリート打込図.....	9	最前面へ移動.....	25
電気シンボル登録時の線色で配置.....	10	ビューポートのロック.....	25
電気シンボル展開図登録.....	10	ビューポートスケール変更時の文字サイズ指定.....	26
電気シンボル／機器の複合登録.....	10	ビューポート作成時の配置基点指示.....	27
省略記号向き変更.....	10	電気シンボル（蛍光灯型）のサイズ.....	28
ダウンライト自動配置・寸法線配置.....	10	立面追加の表示面選択.....	29
隠線縦横切替.....	10	寸法線自動付加.....	30
		伸縮端点決定方法.....	30
		「印刷色」「線幅」複数一括設定.....	31

設定ダイアログ内名称表示.....	32
ハルーン、線分の矢印付加・削除.....	32
印刷時の領域指定.....	32
電気シンボルの高さ基準設定.....	33
材質付加/材質解除.....	34
手動包絡.....	36
ショートカットメニュー設定.....	37
基本図形の属性コピー.....	38
クイックアクセスツールバーの設定読み込み.....	39
JWW に線色を設定して出力.....	39
JWW 設定.....	40
JWW の画像データ入出力.....	41
JWW の塗りつぶし入出力.....	41
マウスの JWW ライク操作設定.....	41
FILDER CeeD 電気版での配管・ダクトの 3D 表示	42
シート、レイヤの塗りつぶし設定.....	42
コマンド名の変更/コマンド位置変更・追加.....	43
新規追加になったコマンド.....	50
なくなったコマンド.....	52

FILDER CeeD（バージョン 3.1 以降）は Windows11 に対応していますが、本書の画面イメージや操作説明は、Windows10 のものを使用しています。

リボン、パネルの表示非表示

<リボンを最小化> ボタンをクリックして、リボン、パネルを非表示にすることにより、作業領域を広くできるようになりました。



※ リボンメニューに FILDER Rise の「ホーム」タブを表示することができます。

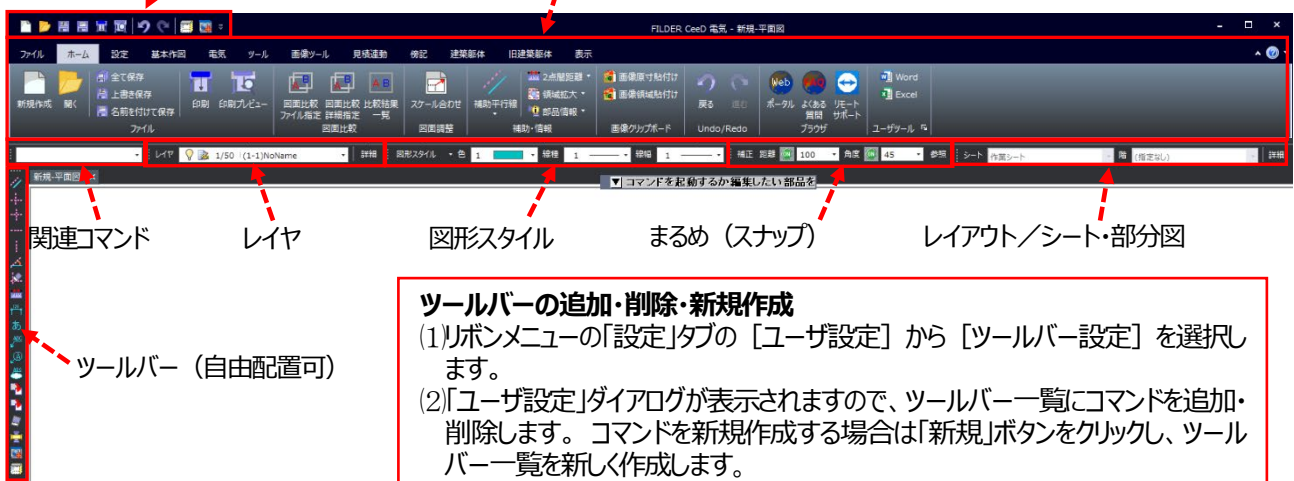
- ① [設定] - [ユーザ設定] - [リボン設定] を選択します
- ② [リボンのユーザ設定]の一覧から、[Rise ホーム]にチェックを入れます
- ③ [OK] ボタンをクリックします

ツールバー

関連コマンド、レイヤ、スタイル、まるめ（スナップ）、レイアウト／シート・部分図をツールバーで設定できるようになりました。

クイックアクセスツールバー

リボンメニュー



※ [表示] タブの [関連コマンド]、[レイヤ]、[図形スタイル]、[まるめ（スナップ）]、[部分図・レイアウト制御] のチェックのオン／オフで表示・非表示を切替えます。

レイヤツールバー

レイヤ詳細ダイアログを表示しなくても、レイヤツールバーの💡や🔒をクリックで表示・非表示、編集可・編集不可などが設定できるようになりました。



💡 : 表示
💡 : 非表示
🔒 : 編集可
🔒 : 編集不可

スタイルツールバー

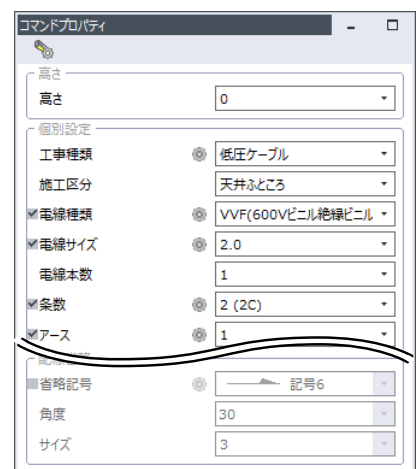
スタイルツールバーで図形スタイルを選択することで、配管やダクトの中心線や髭の色、線種を設定できるようになりました。



コマンドプロパティ

作図、編集コマンドの起動時に、コマンドの動作を設定できます。

「設定」・「ユーザ設定」・「コマンドプロパティ設定」でコマンドプロパティに表示する項目を選択できます。



プロパティ

図形選択時に選択した図形の属性を表示し、変更ができます。



図面タブ

複数の図面を開いている時、タブをクリックしてカレントの図面を切替えることができます。



※ [表示] - [ウィンドウ表示形式] - [ウィンドウ形式] を選択すると、FILDER Rise と同じように図面の切替えが可能です。

[表示] - [左右に並べて表示] - [左右に並べて表示] 開いているウィンドウを左右に並べて表示します。

[表示] - [左右に並べて表示] - [上下に並べて表示] 開いているウィンドウを上下に並べて表示します。

[表示] - [左右に並べて表示] - [重ねて表示] 開いているウィンドウを左上基準で重ねて表示します。

※ タブ形式にする場合は、[表示] - [ウィンドウ表示形式] - [タブ形式] を選択します。

2 画面对応

FILDER CeeD を 2 つ起動し、2 画面で図面を開いて作図・編集ができるようになりました。

FILDER CeeD インターネットライセンス認証版をご利用の場合、2 つ起動しても 1 つのログインとなります。

2 画面間での複写の操作は、[基本作図] ([衛生] / [空調] / [ダクト] / [電気] / [建築躯体]) - [複写] - [画面間コピー] コマンドでコピーして、[複写] - [画面間貼付] コマンドで貼付けます。

マウスホイールでの拡大・縮小

マウスホイールの回転でカーソルの位置を中心に画面を拡大縮小しますが、Shift+Ctrl+マウスホイールの回転で現在のカーソル位置で拡大縮小ができるようになりました。

定期保存

[設定] - [環境設定] - [定期保存] で定期保存が時間で設定できるようになりました。

マウスの方向で座標入力

[設定] - [環境設定] - [座標指示] の「座標入力」欄でカーソルの位置と数値で座標入力できるようになりました。

『距離を入力する際、距離入力確定時のマウスの位置で方向を指定する』(デフォルト)

X,Y 両方の数値を入力した場合は、FILDER Rise と同様に、X,Y の数値入力で座標を指示します。

例えば、「500,0」とキー入力すると右側に 500 移動します。

「0,500」とキー入力すると上側に 500 移動します。

「500,500」とキー入力すると右側に 500、上側に 500 移動します。

この場合、カーソルの方向は関係ありません。

数値を 1 つだけ入力した場合は、カーソルの位置によって方向を指示します。

例えば、カーソルを右側へ移動し「500」とキー入力すると右側に 500 移動します。

カーソルを上側へ移動し「500」とキー入力すると上側に 500 移動します。

カーソルを右下側へ移動し「500」とキー入力すると右下 45 度方向へ 500 移動します。

(角度まるめ 45 度)

入力した数値は、X,Y ではなく、そのままの距離と考えます。

この時、角度まるめが On の場合は、その角度で方向を決定します。

角度まるめが Off の場合は、90 度単位で方向を決定します。

『距離、座標を入力する際、数値入力確定時のマウスの方向で指定する』

X,Y 両方の数値を入力した場合も、カーソルの位置によって方向を指示します。

例えば、カーソルを右側へ移動し「500」とキー入力すると右側に 500 移動します。

カーソルを上側へ移動し「500」とキー入力すると上側に 500 移動します。

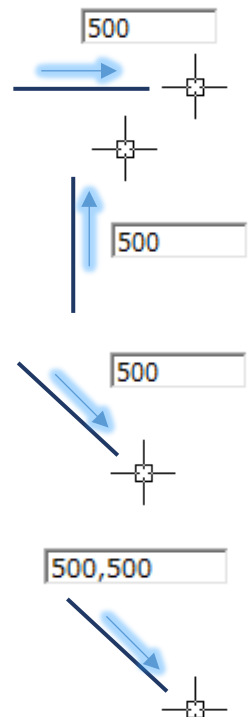
カーソルを右下側へ移動し「500」とキー入力すると右下 45 度方向へ 500 移動します。

(角度まるめ 45 度)

カーソルを右下側へ移動し「500,500」とキー入力すると右側に 500、下側に 500 移動します。

角度まるめが Off の場合は、90 度単位で方向を決定します。

※ FILDER Rise と同様の操作をする場合は、「座標入力の方向を、プラス、マイナスの数値で入力する」を選択します。



■ 線種の登録

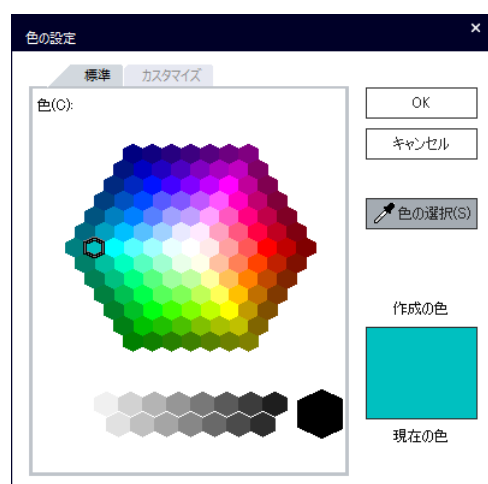
〔設定〕 - 〔環境設定〕 - 〔線種〕 で図形を線種として登録し、〔線〕 コマンドで登録した図形を線種として選択し、作図することができます。

※ 図形を線種として登録する方法は「ユーザズガイド」をご参照ください。

■ 色の設定方法

〔設定〕 - 〔環境設定〕 - 〔その他の色〕 などの「色の設定」ダイアログが変更されました。

※ 〔参照〕 ボタンをクリックすると、画面上の色を抽出することができます。



■ シートの表示状態を登録・呼出し

シートの表示・非表示・編集可の状態を登録し、一括で変更できるようになりました。

シートタブ上で右クリックしてショートカットから「状態登録・削除」を選択します。

シートの表示状態を呼出す場合は、シートタブ上で右クリックしてショートカットから「状態呼出し」の中のシートセット名を選択します。

※ 表示状態の登録・呼出し方法は「ユーザズガイド」をご参照ください。

■ シートのグループ登録

複数シートをグループとして登録できるようになりました。

グループ登録したシートはひとつにまとめて表示し、一括で属性の編集や表示・非表示の切替えができます。

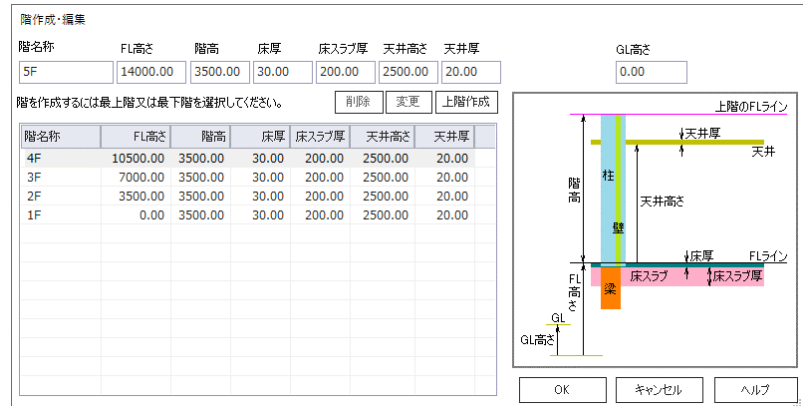
シートを複数選択し、シートタブ上で右クリックしてショートカットから「シート属性編集」を選択します。「グループ」にグループ名を入力します。



※ 操作方法については「ユーザズガイド」をご参照ください。

複層階の FL 高さ基準

シートに階情報（階名称・階高・F L 高さ）を設定できるようになりました。
 シートタブ上で右クリックしてショートカットから「シート属性編集」を選択します。
 「階名称」の「編集」ボタンをクリックし、階名称、階高、F L 高さを登録します。
 「階名称」から設定する階を選択します。



階作成・編集

階名称 FL高さ 階高 床厚 床スラブ厚 天井高さ 天井厚 GL高さ

5F 14000.00 3500.00 30.00 200.00 2500.00 20.00 0.00

階を作成するには最上階又は最下階を選択してください。

階名称 FL高さ 階高 床厚 床スラブ厚 天井高さ 天井厚

階名称	FL高さ	階高	床厚	床スラブ厚	天井高さ	天井厚
4F	10500.00	3500.00	30.00	200.00	2500.00	20.00
3F	7000.00	3500.00	30.00	200.00	2500.00	20.00
2F	3500.00	3500.00	30.00	200.00	2500.00	20.00
1F	0.00	3500.00	30.00	200.00	2500.00	20.00

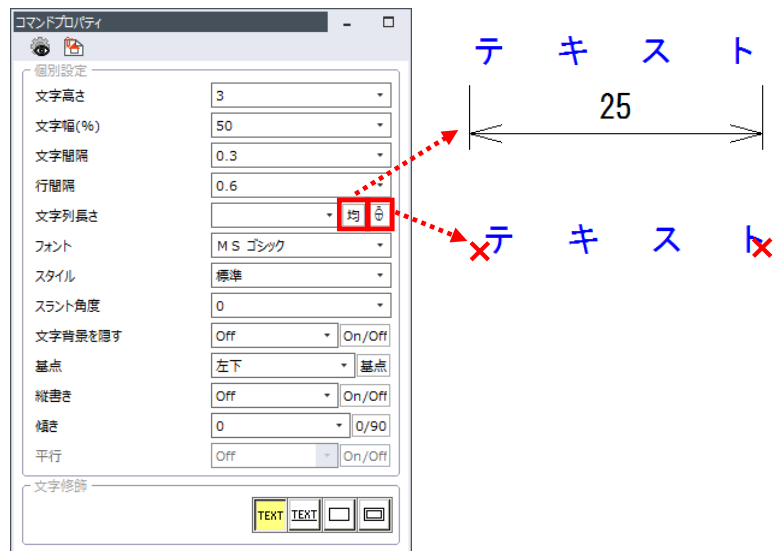
OK キャンセル ヘルプ

サイズ記号の階表示

「設定」 - 「記号設定」 - 「配管サイズ記号」（「ダクトサイズ記号」 / 「スリーブサイズ記号」）で高さ基準の「階も表示する」にチェックを入れることにより、サイズ記号に階表示ができるようになりました。

文字の均等割り付け

「基本作図」（「衛生」 / 「空調」 / 「ダクト」 / 「電気」 / 「傍記」） - 「文字」コマンドで文字を配置する際、均等割り付けができるようになりました。
 「文字長さ」の「均」ボタンをクリックすると、数値を指示して配置できます。
 「文字長さ」の「マウス」ボタンをクリックすると、領域を指示して配置できます。



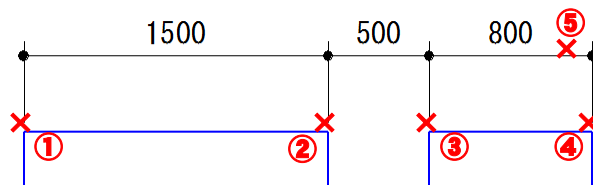
※ 文字編集で文字数が少なくなった場合、文字列長さはそのまま均等割り付けを行います。

※ 文字編集で文字数が少なくなっても、文字間隔は同じで均等割り付けを行う場合は「文字列長さ」の「均」をオフにします。

■ 寸法線（連続）の配置

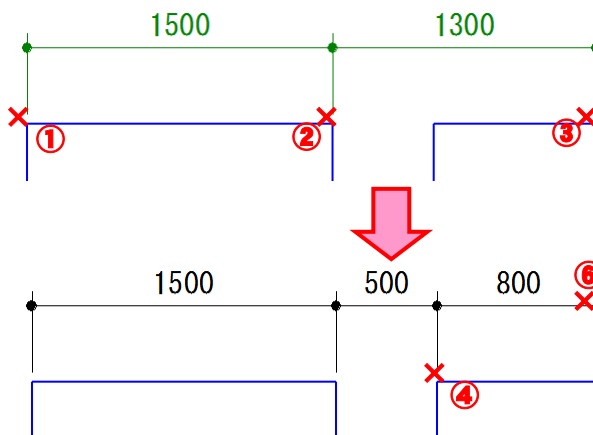
〔寸法線〕コマンドの「連続」が On の状態で寸法線を配置する時に、寸法線の配置位置を最後に指示するようになりました。

- ① 補助線 1 の基点をクリックします
- ② 補助線 2 の基点をクリックします
- ③ 次々基点をクリックします
- ④ 最後の基点をクリックしたら右クリックで確定します
- ⑤ 寸法値の配置位置をクリックします



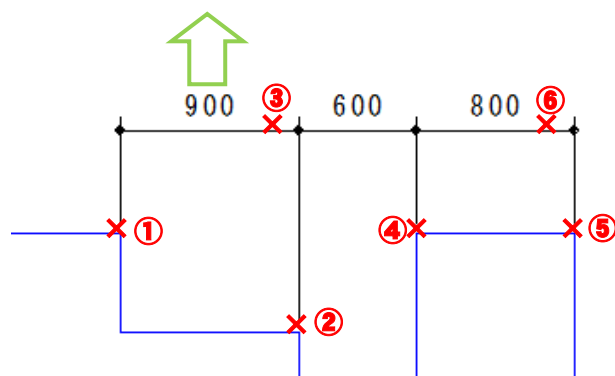
また、右クリックで確定するまでは、元に戻って追加の基点を指示することが可能です。

- ① 補助線 1 の基点をクリックします
- ② 補助線 2 の基点をクリックします
- ③ 次々基点をクリックします
- ④ 追加したい基点をクリックします
- ⑤ 右クリックで確定します
- ⑥ 寸法値の配置位置をクリックします



補助線 1 の基点と補助線 2 の基点が、水平または垂直以外の場合は操作手順が異なります。

- ① 補助線 1 の基点をクリックします
- ② 補助線 2 の基点をクリックします
- ③ 寸法線の配置方向でクリックします
- ④ 次々基点をクリックします
- ⑤ 最後の基点をクリックしたら右クリックで確定します
- ⑥ 寸法値の配置位置でクリックします



※ FILDER Rise と同様の操作をする場合は、設定を変更します。

- ① FILDER CeeD を終了します
- ② Windows スタートから [FILDER CeeD] - [Config] を選択します
- ③ [スタートアップ設定] ボタンをクリックします
- ④ 「寸法線作図モード」で「Rise」を選択します
- ⑤ [OK] ボタンをクリックします
- ⑥ [終了] ボタンをクリックします
- ⑦ [OK] ボタンをクリックします

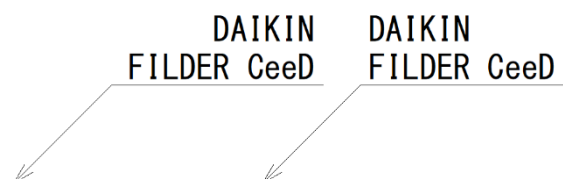
■ 文字コードで Unicode を採用

〔基本作図〕（〔衛生〕 / 〔空調〕 / 〔ダクト〕 / 〔電気〕 / 〔傍記〕）- 〔文字〕コマンドで「m」などの文字を配置できるようになりました。

ただし、SXF ファイルや JWW ファイルに変換する場合は、Unicode からシフト JIS に変更されるので、文字が対応しない場合があります。

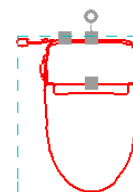
ラベルの表示基点

〔基本作図〕（〔衛生〕 / 〔空調〕 / 〔ダクト〕 / 〔電気〕 / 〔傍記〕）- 〔文字〕 - 〔ラベル〕 コマンドのコマンドプロパティまたはプロパティの「基点」でラベルの表示基点を設定できるようになりました。



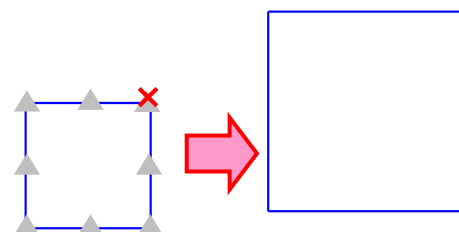
回転ハンドル

コントロールポイントに回転用のハンドルが追加され、回転ができるようになりました。



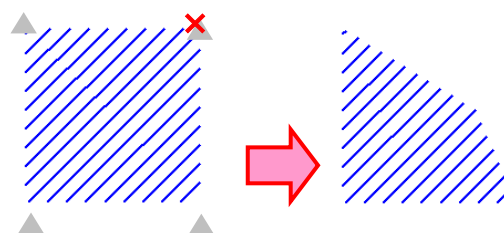
伸縮のコントロールポイント

伸縮のコントロールポイントが8点になり、上下左右の伸縮がしやすくなりました。



ハッチング・塗りつぶしの形状変更

選択すると表示されるコントロールポイントを移動することでハッチング、塗りつぶしされている部分の形状を変更できるようになりました。



補助線削除

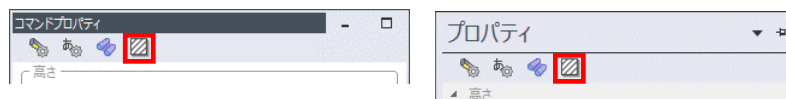
〔基本作図〕 - 〔補助平行線〕 - 〔補助線一括削除〕 コマンドで、補助線を一括で削除できるようになりました。

シンボル一括配置

〔電気〕 - 〔電気シンボル〕 コマンドのコマンドプロパティから選択していたシンボルの一括配置が、〔電気〕 - 〔電気シンボル〕 - 〔一括（矩形）〕 コマンドとなりました。

シンボルの塗りつぶし

【電気】 - 【電気シンボル】 コマンドのコマンドプロパティ、または電気シンボルを選択した時のプロパティの「ハッチング・塗りつぶし・保温設定」から設定します。



シンボルの接続位置

電気シンボルに配線を接続する際、接続点以外の指示した位置で接続できるようになりました。

【電気】 - 【電気シンボル】 コマンドのコマンドプロパティで「接続位置」から「指示位置」にチェックを入れ、電気シンボルを配置します。

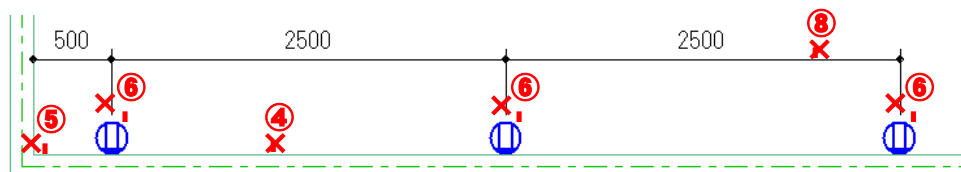
【電気】 - 【配線】 コマンドで電気シンボル上をクリックすると、この位置が接続点となります。

または、【電気】 - 【配線】 コマンドのコマンドプロパティで「接続位置」から「指示位置」を選択し、電気シンボル上をクリックすると、この位置が接続点となります。

シンボルの線固定

電気シンボル配置にてコンセントやスイッチを線上の向きに固定し、配置することができるようになりました。

- ① 【電気】 - 【電気シンボル】 コマンドを実行します
- ② 配置シンボルを選択します
- ③ コマンドプロパティの「配置」から「線に沿って配置」を選択します
- ④ 基準とする線をクリックします
- ⑤ 基準となる位置をクリックします
- ⑥ 配置位置で次々クリックします
- ⑦ 右クリックで確定します
- ⑧ 寸法線の通過点をクリックします



パナソニック照明

【電気】 タブの【配置】、【写真】、【姿図】、【照度計算書出力】、【照度分布図計算】 コマンドでパナソニック社の提供している Luminous Planner Lite（照度計算アプリケーション簡易版）と連携して、画像・姿図・照度分布を貼り付けられるようになりました。

※ パナソニック照明を使用するにはインストールが必要です。インストール方法は「ユーザーズガイド」をご参照ください。

電線管

【電気】 - 【配線】 - 【電線管】 コマンドで電線管の作図ができるようになりました。

コンクリート打込図

エンド記号が付いた配線、電気シンボルに接続された配線からコンクリート内の配線を自動判定し、コンクリート打ち込み図を自動的に作成することができます。

電気シンボル登録時の線色で配置

電気シンボルユーザ登録時の色、線種、線幅で配置することができます。

電気シンボル展開図登録

電気シンボルの展開図（正面）の形状を登録することができます。

電気シンボル／機器の複合登録

既存の電気シンボル／機器同士、または一般図形と電気シンボル／機器を組み合わせで新しい電気シンボル／機器として登録することができます。これにより、1つの電気シンボル／機器で5点以上の接続点を持つことができます。

省略記号向き変更

〔電気〕 - 〔省略記号〕 - 〔省略記号向き変更〕 コマンド、〔傍記〕 - 〔省略記号〕 - 〔省略記号向き変更〕 コマンドで配線の省略記号の向きを変更できるようになりました。



ダウンライト自動配置・寸法線配置

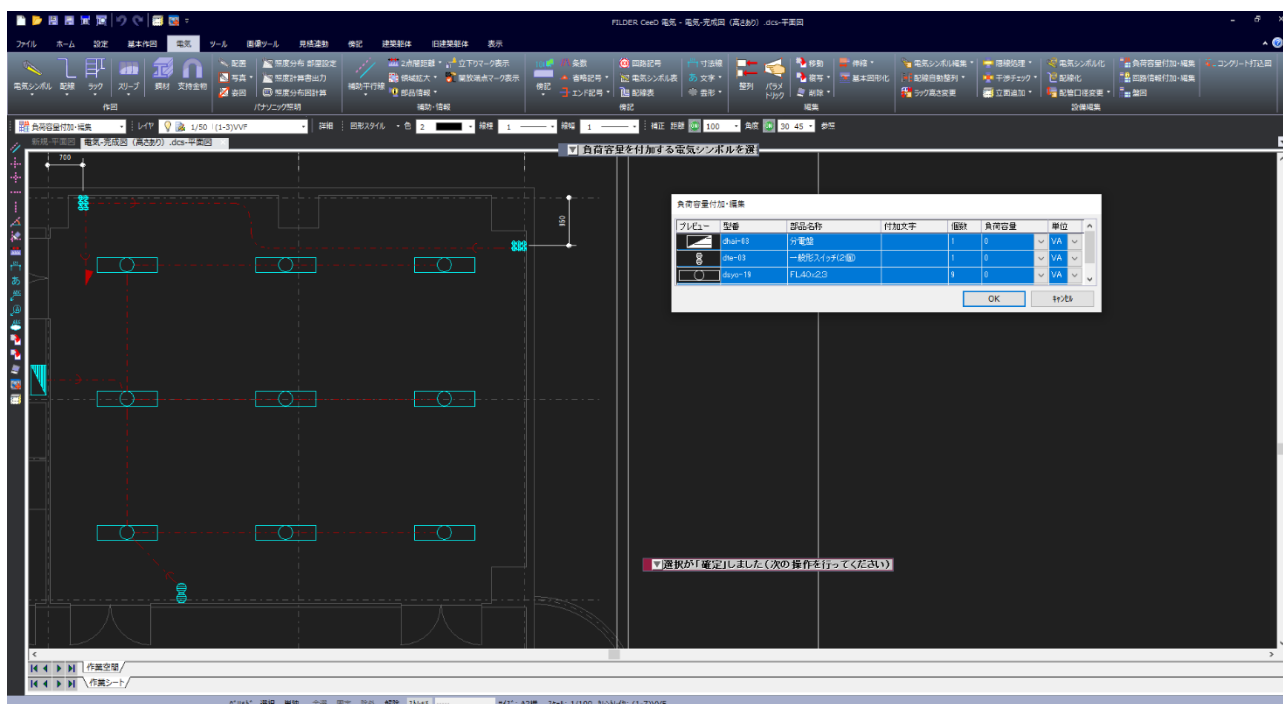
マンション等のダウンライトを、部屋の角からの距離を設定し、配置領域を指定することで自動配置することができます。また、同時に寸法線を配置することができるようになりました。

隠線縦横切替

電線同士の隠線処理済みの箇所にて、隠線の縦横を簡単に切り替えることができます。

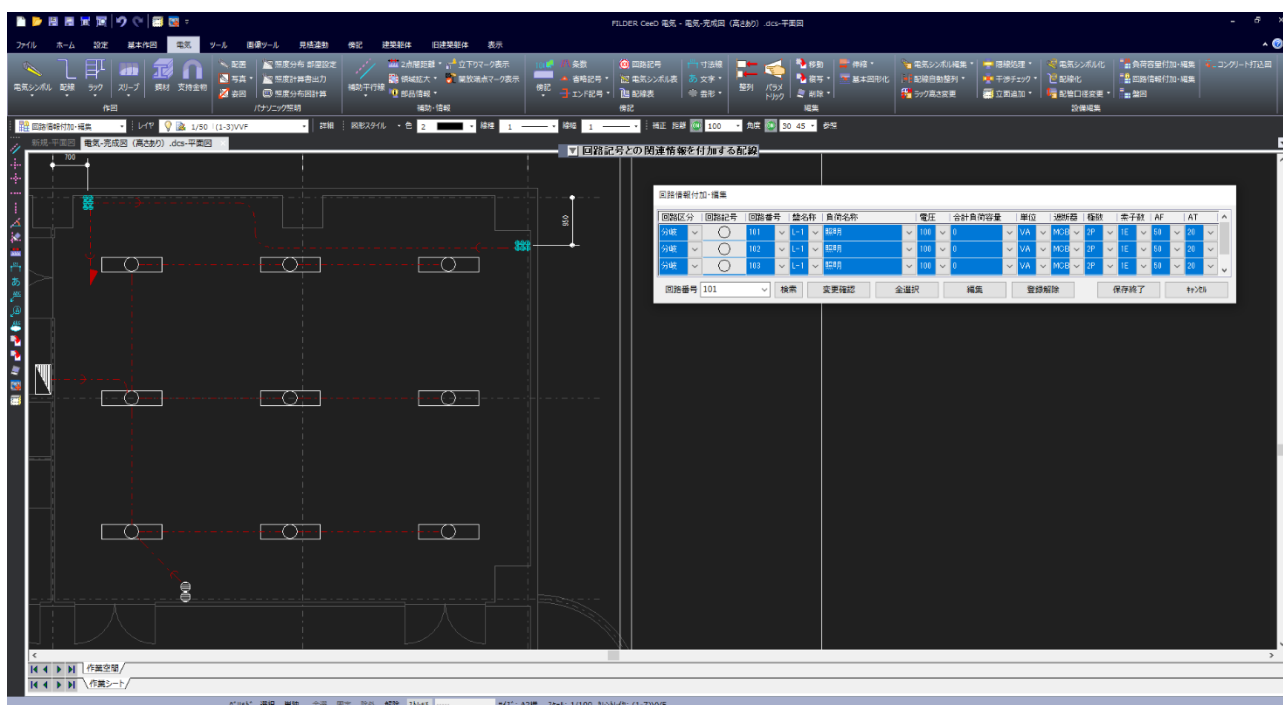
電気シンボルの負荷容量付加・編集

照明器具等、電気を使用するために消費する負荷容量の付加・編集ができるようになりました。



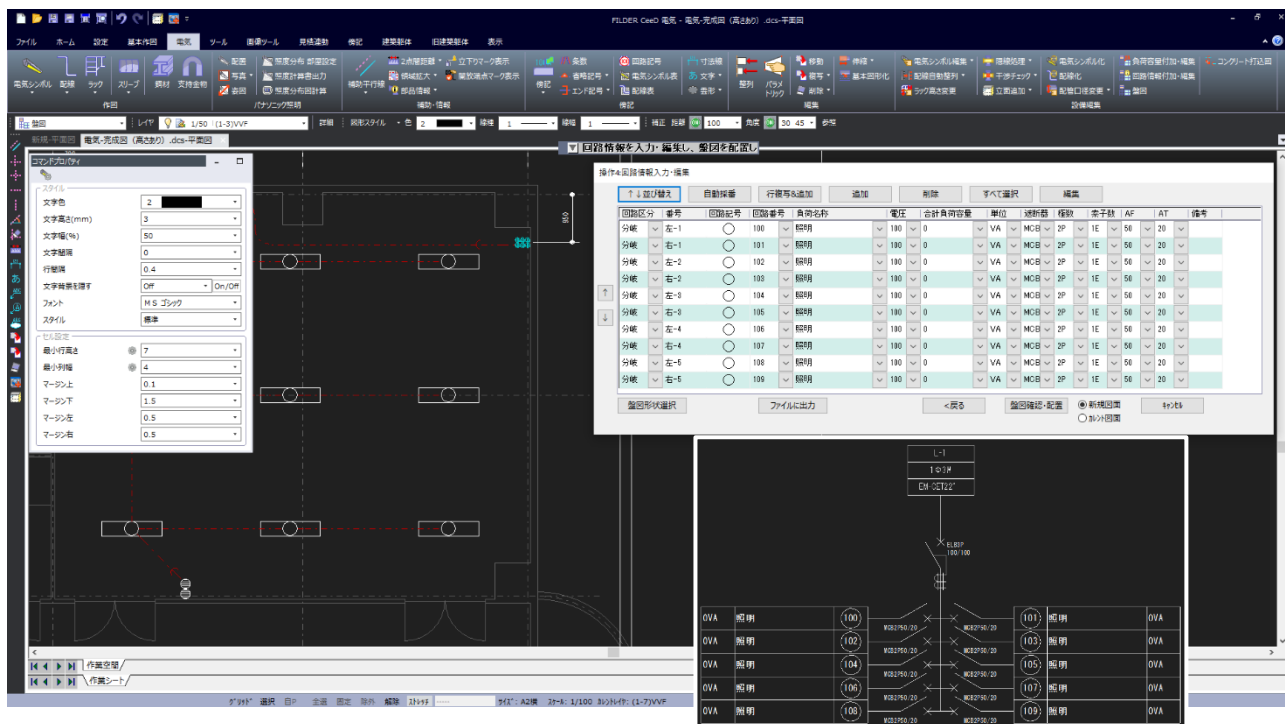
回路情報付加・編集

回路（遮断器の先に繋がっている配線と照明器具、スイッチ、コンセント等を含めた系統）の電圧や照明器具等の合計の負荷容量等の情報、遮断器の情報の付加・編集ができるようになりました。



盤図作成

配置した電気シンボルに情報を付加し、その情報を使って盤図を自動的に作成できるようになりました。



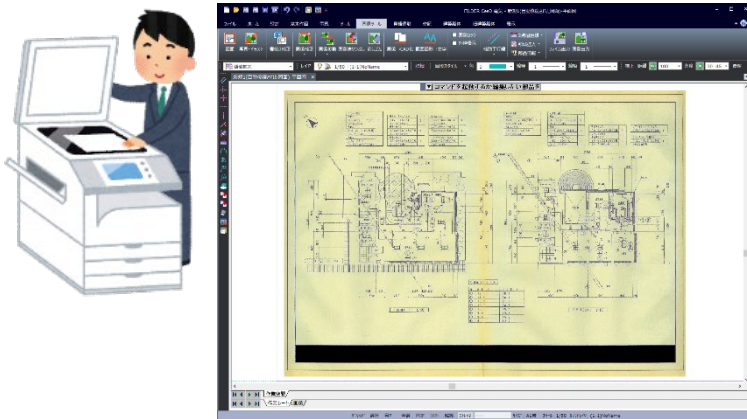
回路区分	番号	回路記号	負荷名称	電圧	合計負荷容量	単位	速断値	極数	素子数	AF	AT	備考
分岐	左-1	100	照明	100	0	VA	MCB	2P	1E	50	20	
分岐	右-1	101	照明	100	0	VA	MCB	2P	1E	50	20	
分岐	左-2	102	照明	100	0	VA	MCB	2P	1E	50	20	
分岐	右-2	103	照明	100	0	VA	MCB	2P	1E	50	20	
分岐	左-3	104	照明	100	0	VA	MCB	2P	1E	50	20	
分岐	右-3	105	照明	100	0	VA	MCB	2P	1E	50	20	
分岐	左-4	106	照明	100	0	VA	MCB	2P	1E	50	20	
分岐	右-4	107	照明	100	0	VA	MCB	2P	1E	50	20	
分岐	左-5	108	照明	100	0	VA	MCB	2P	1E	50	20	
分岐	右-5	109	照明	100	0	VA	MCB	2P	1E	50	20	

青焼き補正

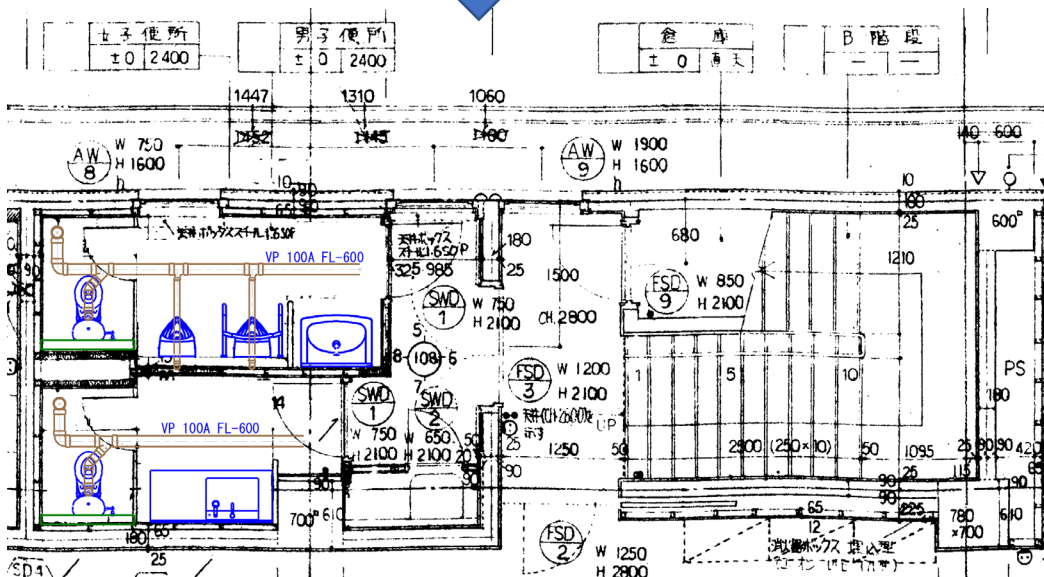
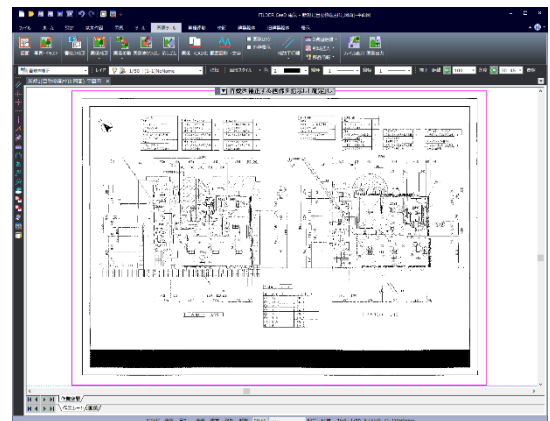
リニューアル提案時、青焼き図面を元に提案図面作成で提案力アップ。

青焼き図面をコピー機などで画像(もしくは PDF)に変換したファイルを CAD に取り込んだ後、青焼き補正機能にて色補正、ゴミ取りを行えるようになりました。

コピー機などで青焼き図面を PDF に変換し、FILDER CeeD へ取り込みます。

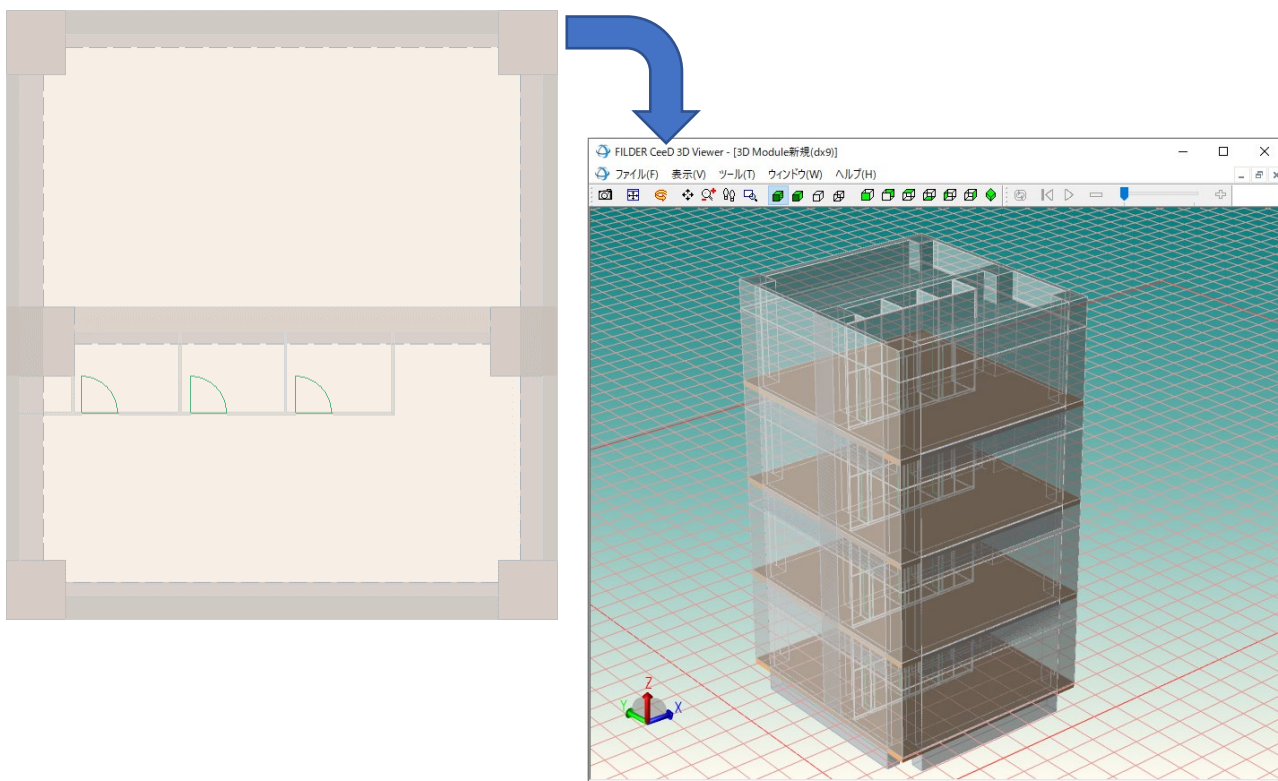


画像処理手法『大津の二値化』を用いて
青焼き図面を最適に自動変換します。



建築躯体が躯体トレースの作図方法になりました

「躯体トレース」タブが削除され、建築躯体の作図が躯体トレースとなりました。
H鋼、U 鋼形状の追加や開口種類の追加がされ、躯体情報を簡単に 3D 化できるようになりました。
※ 建築躯体（躯体トレース）については「ユーザーズガイド」「導入マニュアル」をご参照ください。



トレースした壁への開口部配置

FILDER CeeD 電気 ではトレースした壁にも扉などの開口部を配置できるようになりました。
※ 操作方法については「ユーザーズガイド」をご参照ください。



図面比較

建築躯体図に変更があった場合、図面を重ねて表示することで変更箇所を色分けして表示し、確認できるようになりました。



アイソメ部品表の接続工法・締込方向

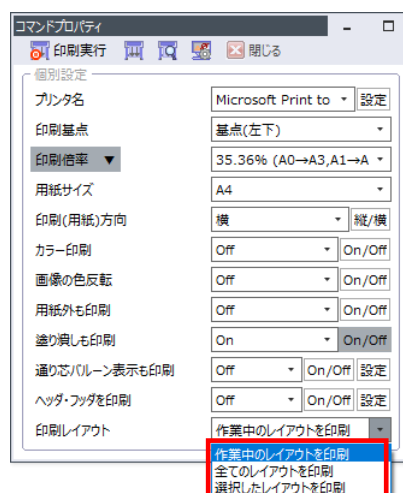
アイソメ部品表に配管の両端の接続工法の情報、締め込み方向を指示する項目が追加されました。

BOX・円柱の3D形状登録

〔衛生〕（〔空調〕 / 〔ダクト〕）- 〔部材配置〕 - 〔テンプレート配置〕 コマンドで BOX・円柱を機器の3D形状として登録できるようになりました。

印刷レイアウト

〔ファイル〕（〔ホーム〕）- 〔印刷〕 コマンドのコマンドプロパティに「印刷レイアウト」の設定項目が追加され、レイアウトを選択して印刷できるようになりました。



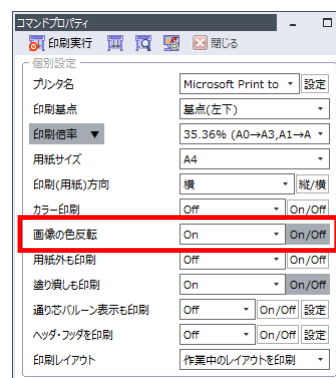
複数レイアウトの印刷

〔ファイル〕 - 〔複数図面印刷〕 コマンドの「全レイアウトを印刷」のチェックを入れると複数のレイアウトも印刷できるようになりました。



印刷色反転

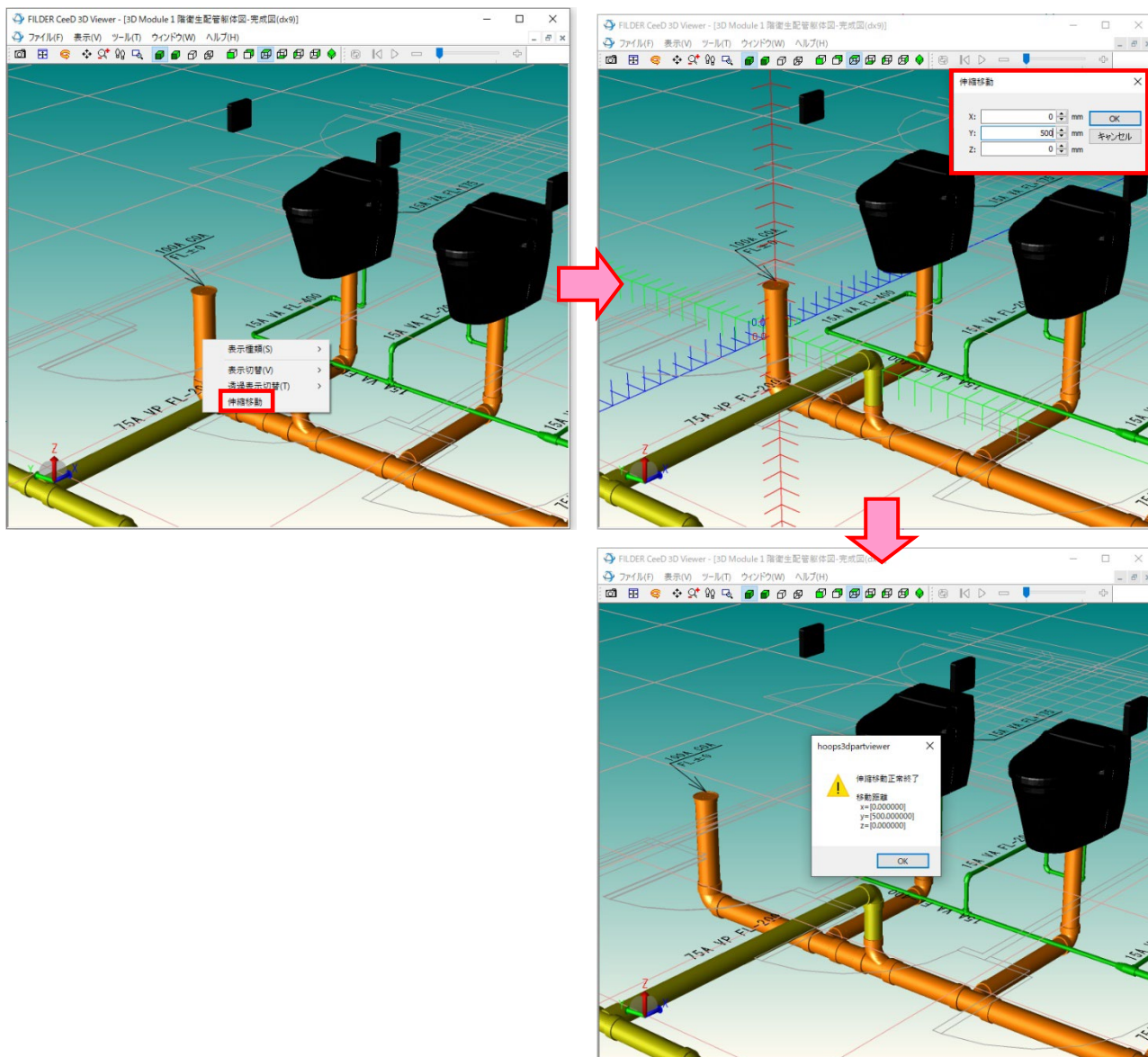
〔ファイル〕 - 〔印刷〕 コマンドのコマンドプロパティで、印刷時に画像の色を反転する設定ができました。



3Dでの移動

3Dの画面で配管やダクトの位置を移動できるようになりました。
平面図の画面と3D表示の画面が連動して編集されます。

〔表示〕 - 〔3Dビュー作成〕 コマンドで3D表示し、配管やダクト上で右クリックします。
元に戻る場合は、平面図の画面でクイックアクセスツールバーの〔取り消し〕 ボタン、または〔ホーム〕 - 〔戻る〕 を実行します。



工程表ツール

工程表を作成できるようになりました。

※ 工程表ツールを使用するにはインストールと設定が必要です。インストール方法は「インストール・その他手順書」をご参照ください。

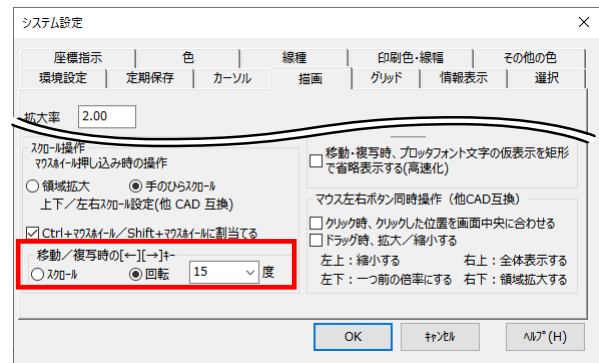
画面スクロール

機器の移動・複写などの際、キーボードの矢印キーを押すと機器が回転していましたが、回転ではなく画面のスクロールに設定できるようにしました。

また、回転の角度を指定できるようになりました。

【設定】 - 【環境設定】 - 【描画】の「移動/複写時の [←] [→] キー」で設定します。

※ FILDER Rise V2.0 以降のバージョンでは、この設定が対応しています。



よくある質問

【ホーム】 - 【よくある質問】 からインストール・バージョンアップ、操作に関する FAQ サイトへアクセスできます。



※ FILDER Rise V2.0 以降のバージョンでは、このアイコンが対応しています。

ユーザツール

Excel、Word が FILDER CeeD の【ホーム】タブから直接起動できるようになりました。その他の良く使うツールを登録することも可能です。



※ ユーザツールの登録方法は「インストール・その他手順書」の「FILDER CeeD ユーザツールの登録」をご参照ください。

CeeD のファイルを Rise で開く

FILDER CeeD で作成したファイルを FILDER Rise で開く場合は、FILDER CeeD にて【ファイル】 - 【名前を付けて保存】の「ファイルの種類」から「FILDER Rise ファイル (*.drs)」形式を選択して保存します。

DWG/DXF 読み込み時のメモリ削減

DWG ファイルや DXF ファイルを読み込むときのメモリ使用量を削減しました。

IFC ファイルの読み込み

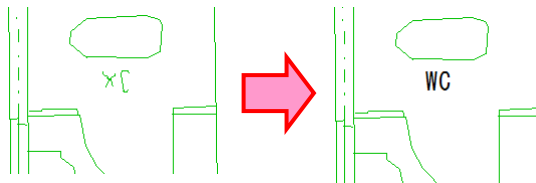
複層階の IFC ファイルを読み込んで作図・編集ができるようになりました。

画像を線分に変換

【画像ツール】 - 【画像→CAD 化】 コマンドで、読み込んだ PDF 画像を線に変換できるようになりました。

文字に置換

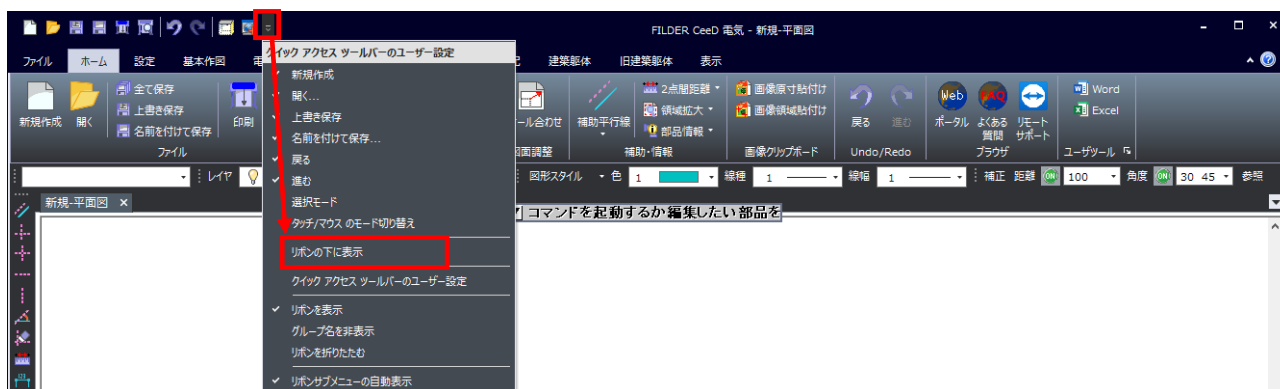
【画像ツール】 - 【範囲図形→文字】 コマンド、または【基本作図】
【文字編集】 - 【範囲図形→文字】 コマンドで基本図形を文字に置換
ることができるようになりました。



Windows タブレットに対応

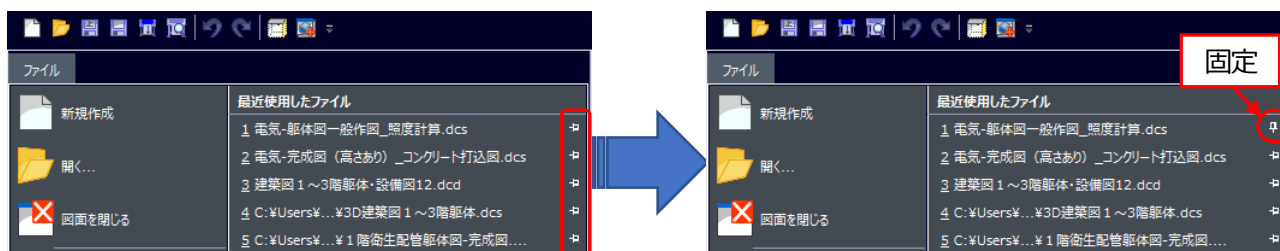
タブレット端末で起動し、現場での図面チェックなどができるようになりました。

【クイックアクセスツールバーのカスタマイズ】 - 【タッチ/マウスのモード切り替え】を指示し、タブレット用にリボンメニューを大きく
することも可能です。



よく使う図面ファイルを固定する

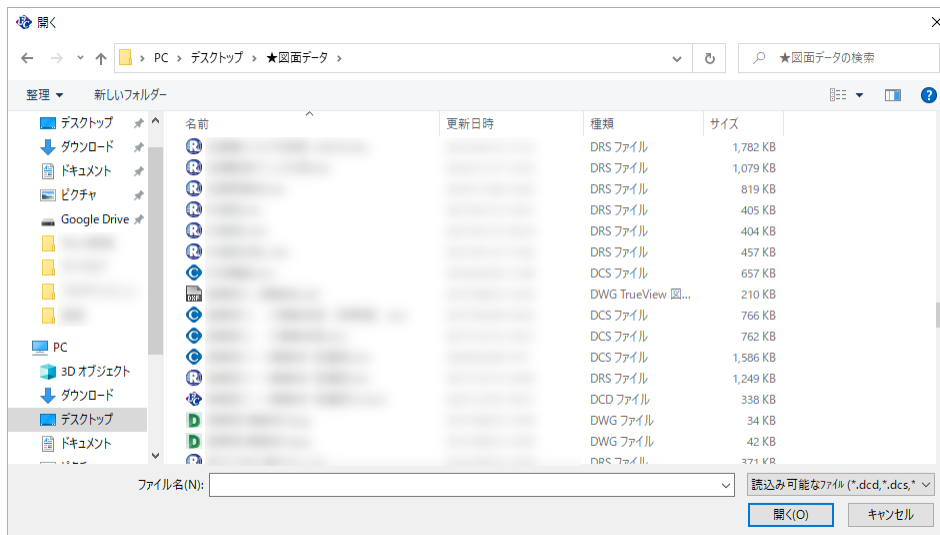
「ファイル」メニューの「最近使用したファイル」に、常に表示させたい図面ファイルを固定することができるようになりました。
ファイル名称の横の押しピンマークをクリックすると固定されます。



ファイラーの廃止

FILDER Cube では「ファイル」メニューの「開く」で図面を開く際「FILDERFiler」というソフトが起動していましたが、FILDER CeeD では FILDERFiler は廃止されました。

- ※ FILDERFiler 内の「データ変換」を使って複数図面変換を行っていた場合は、FILDER CeeD では「ファイル」メニューより「複数図面変換」をご利用ください。
- ※ 「開く」から複数の図面を同時に選択して開くことができません。複数図面を同時に開きたい場合はエクスプローラーよりファイルを選択してドラッグ＆ドロップにて開いてください。
- ※ FILDER CeeD（バージョン 3.1 以降）は Windows11 に対応していますが、本書の画面イメージや操作説明は、Windows 10 のものを使用しています。



リモートサポートボタン

リモートサポートを CAD の画面から起動できるようになりました。

- ※ リモートサポートは、弊社サポート担当者からご案内した場合のみご利用いただけます。

リボンメニューの「ホーム」タブから「リモートサポート」をクリックすると、ユーザアカウント制御が表示されますので、「はい」ボタンをクリックすると、「緊急サポートツール」が表示されます。

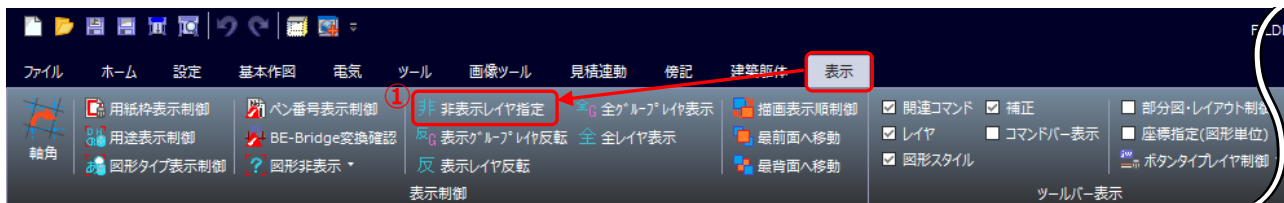
「接続準備完了（安全な接続）」となりましたら、サポート担当者に使用中の ID を伝え、案内に従い操作してください。

- ※ 「接続準備完了（安全な接続）」となるまでに少々お時間がかかりますので、この状態になるまでしばらくお待ちください。

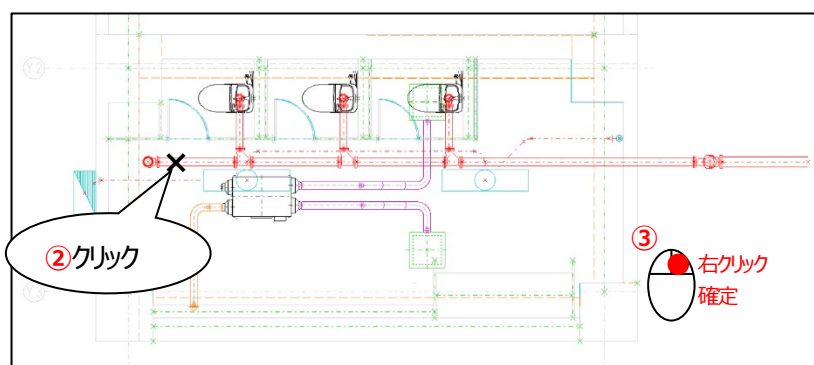
レイヤの非表示・表示コマンド

「非表示レイヤ指定」、「表示グループレイヤ反転」、「表示レイヤ反転」、「全グループレイヤ表示」、「全レイヤ表示」を追加しました。

- ① リボンメニューの「表示」タブから「非表示レイヤ指定」を選択します。

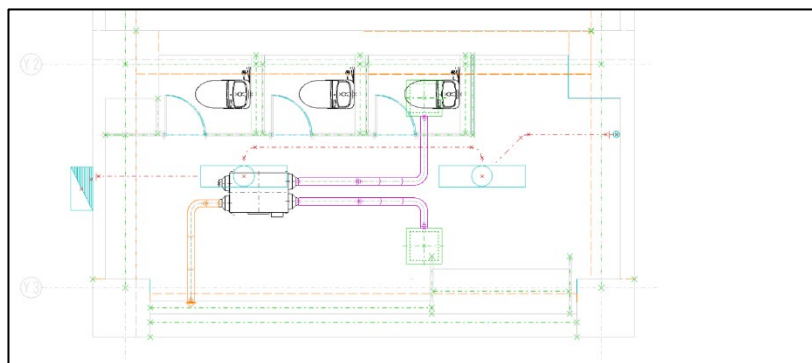


- ② 非表示にする部品を選択するとそのレイヤに入っている部品が全て選択されます。



- ③ 右クリックで確定します。

- ④ 指定した部品のレイヤが非表示になります。



ワンポイント



その他表示状態

「表示グループレイヤ反転」

全グループレイヤの表示状態を反転します。(非表示→表示、表示→非表示)

「表示レイヤ反転」

全レイヤの表示状態を反転します。(非表示→表示、表示→非表示)

「全グループレイヤ表示」

すべてのグループレイヤを表示状態とします。

「全レイヤ表示」

すべてのレイヤを表示状態とします。

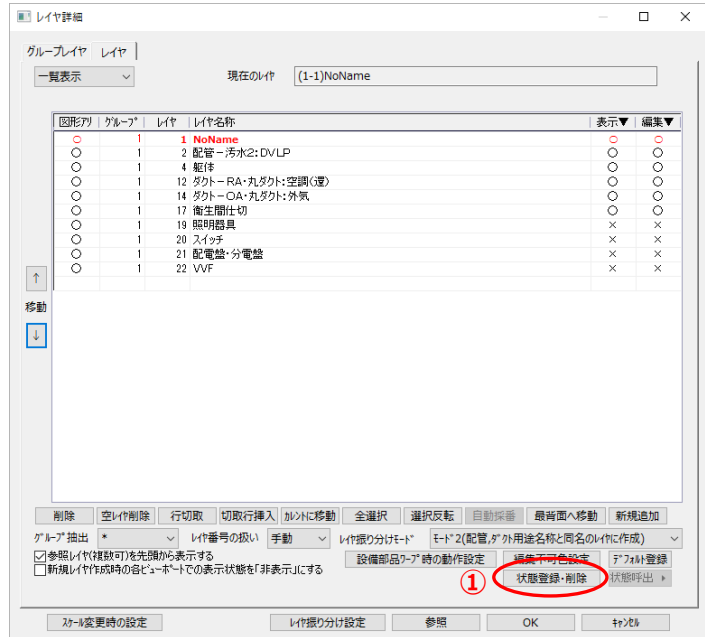
非 非表示レイヤ指定 全グループレイヤ表示
反 表示グループレイヤ反転 全レイヤ表示
反 表示レイヤ反転

レイヤの表示・編集状態の登録・呼出

レイヤの表示・編集状態の登録・呼出ができるようになりました。

1) 表示・編集状態の登録

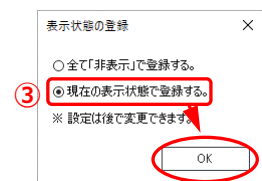
- ① 「レイヤ詳細」ダイアログで表示・編集状態を登録する場合、「状態登録・削除」ボタンをクリックします。



- ② 「レイヤ状態登録・削除」ダイアログが表示されますので、レイヤ状態登録名に名称を入力し、「登録」ボタンをクリックします。



- ③ 「表示状態の登録」ダイアログが表示されますので、「現在の表示状態で登録する。」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



- ④ 表示・編集状態が登録されますので、「OK」ボタンをクリックします。

※一口メモ※

「レイヤ状態登録・削除」ダイアログの左側一覧にある表示状態に項目をドラッグ&ドロップで状態を変更することができます。

また、「表示状態」「編集状態」の○×をクリックすることで、状態を変更することができます。

レイヤ状態登録・削除

レイヤ状態登録名: 衛生・ダクト配管

登録

グループ	レイヤ	レイヤ名称	表示状態	編集状態
1	1	NoName	○	○
1	2	配管 - 汚水2: DVLP	○	○
1	4	躯体	○	○
1	12	ダクト - RA・丸ダクト: 空調 (通)	○	○
1	14	ダクト - OA・丸ダクト: 外気	○	○
1	17	衛生間仕切	○	○
1	19	照明器具	X	X
1	20	スイッチ	X	X
1	21	配電盤・分電盤	X	X
1	22	VVF	X	X

右エリアのレイヤを選択(複数可)し、ドラッグ & ドロップで左のエリアの最下層のフォルムに移動すると「表示状態」、「編集状態」が変更されます。

レイヤセット削除 表示状態変更 編集状態変更 OK キャンセル

2) 表示・編集状態の呼出

- ① 「レイヤ詳細」ダイアログの「状態 g 呼出」ボタンをクリックすると、登録した状態名が表示されますので、表示させたい名称をクリックします。

レイヤ詳細

グループ: レイヤ

現在のレイヤ: (1-1)NoName

図形ID	グループ	レイヤ	レイヤ名称	表示	編集
○	1	1	NoName	○	○
○	1	2	配管 - 汚水2: DVLP	○	○
○	1	4	躯体	○	○
○	1	12	ダクト - RA・丸ダクト: 空調 (通)	○	○
○	1	14	ダクト - OA・丸ダクト: 外気	○	○
○	1	17	衛生間仕切	○	○
○	1	19	照明器具	○	○
○	1	20	スイッチ	○	○
○	1	21	配電盤・分電盤	○	○
○	1	22	VVF	○	○

削除 空レイヤ削除 行切取 切取行挿入 別々に移動 全選択 選択反転 自動探索 最前面へ移動

グループ抽出 * レイヤ番号の扱い 手動 レイヤ振り分けモード モード2(配管,ダクト用途名称と同名のレイヤに作成)

参照レイヤ(複数可)を先頭から表示する 設備部品アップ時の動作設定 編集不可色設定 レイヤ詳細

新規レイヤ作成時の各コンピュータでの表示状態を「非表示」にする 状態登録・削除 状態呼出 衛生・ダクト配管

スケール変更時の設定 レイヤ振り分け設定 参照 OK キャンセル

隠線状態の自動更新機能

レイヤやシートを非表示にした際、下のある配管やダクトが隠線されたままとなっていました。設定を切り替えることで表示状態の切替時に自動で隠線を復活できるようになりました。

※ 「対象図形数が 100 を超えた場合自動隠線しない」となっております。隠線が自動復活しない場合はこちらの数値を大きくしてください。

- ① リボンメニューの「設定」タブから「電気設定」を選択します。
- ② 「電気設定」ダイアログが表示されますので、「隠線」タブを選択します。



電気設定

シンボル表 ② 配線 隠線 ラック高さ レースウェイ回路記号 ダクト盤図 バスダクト スリーブ

隠線表示タイプ

隠線の基準の設定

☐ 上の部品の設定で隠線 ☒ 下の部品の設定で隠線

☐ 設備図 - 配管

☐ 線種の変更を行わない ☐ 線色の変更を行わない ☐ ペン番号の変更を行わない

点線 16 1

☒ 設備図 - ダクト(ラック等)

☐ 線種の変更を行わない ☐ 線色の変更を行わない ☐ ペン番号の変更を行わない

点線 16 1

☐ 設備図 - 機器(電気シンボル、銅材など)

☐ 線種の変更を行わない ☐ 線色の変更を行わない ☐ ペン番号の変更を行わない

点線 16 1

☐ 設備図 - 基本図形

☐ 線種の変更を行わない ☐ 線色の変更を行わない ☐ ペン番号の変更を行わない

点線 16 1

配線隠線優先順

☒ 縦優先 ☐ 横優先

記号 (他の設備図は「-|-」固定)

☒ 電気(配線) ☐ アイソメ ☐ 系統図

高さ 2 mm 角度 60 度

オフセット間隔

設備図-単線時 1.00 mm

設備図-複線時 0.50 mm

系統図 1.00 mm

アイソメ図 1.00 mm

作図時(自動隠線)

☒ 自動隠線を行う(☐ 編集不可含む)

☐ 機器も対象

☒ 電気シンボルも対象(☐ 編集不可含む)

③ 編集時(自動隠線)

☒ 自動隠線を行う(☐ 編集不可含む)

☐ 機器も対象

☒ 電気シンボルも対象(☒ 編集不可含む)

☒ 画面表示の切替時も対象

☒ 対象図形数が 1000 を超えた場合、自動隠線しない(対象「マント」:移動・複写・削除・表示の切替)

デフォルト登録

OK キャンセル ヘルプ (H)

- ③ 「編集時(自動隠線)」項目内の「画面表示の切替時も対象」にチェックを入れると、シート、レイヤの表示状態を非表示にした際、隠線がかかっていた部分の表示は復活し、表示されるようになります。

隠線処理機能の一般図形対応

「隠線処理」機能の「モード」を「クリップ」にし、上にしたい部品（図形）を選択し確定、下にしたい部品（図形）を選択し確定すると、配管・ダクトと一般作図図形を隠線処理できるようになりました。

※ 一般図形は事前にグループ化しておきます。

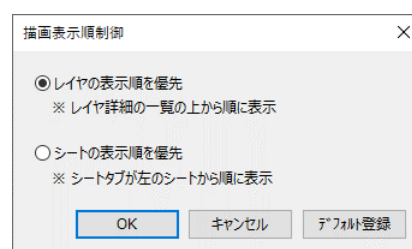
図形の表示順入替

従来の表示順はレイヤ固定だったのを、表示順をレイヤ優先（レイヤは上から下）にするか、シート優先（シートは左から右）にするか選択できるようになりました。

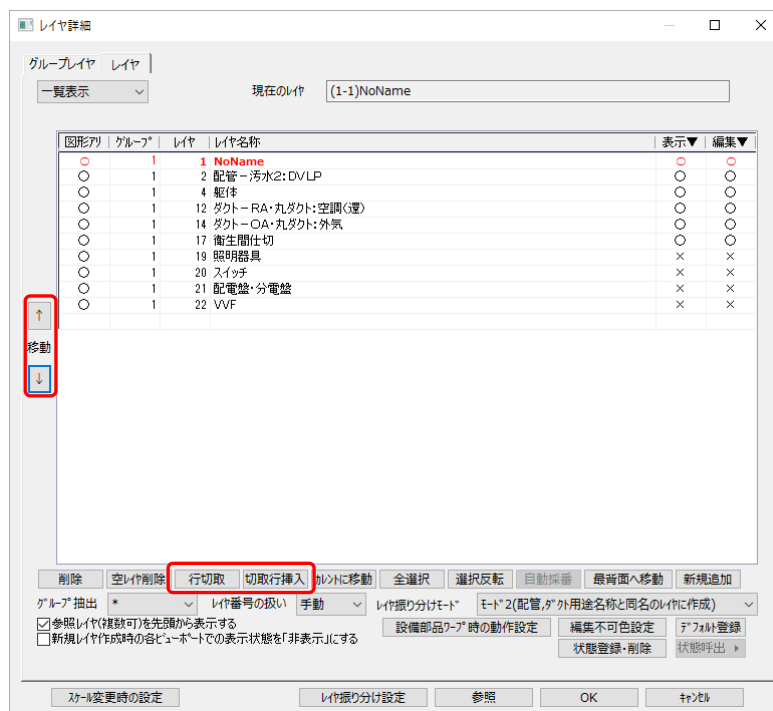
- ① リボンメニューの「表示」タブから「描画表示順制御」を選択します。



- ② 「描画表示順制御」ダイアログが表示されますので、「レイヤの表示順を優先」か「シートの表示順を優先」を選択します。



- ③ 「レイヤ詳細」ダイアログの表示順の変更は、「行切取」、「切取行挿入」で移動、または、移動したいレイヤ名称を選択し（複数選択可）、一覧の左側にある移動の「↑」「↓」ボタンで移動できます。



最前面へ移動

リボンメニューの「表示」タブ内の「最前面へ移動」、「最背面へ移動」コマンドでは、同一レイヤ、もしくは同一シート内には限定せず、レイヤ、またはシートの表示順の制御を超えて「最前面」あるいは「最背面」へ移動します。

塗りつぶしや画像だけでなく、線分や文字なども移動できるようになりました。

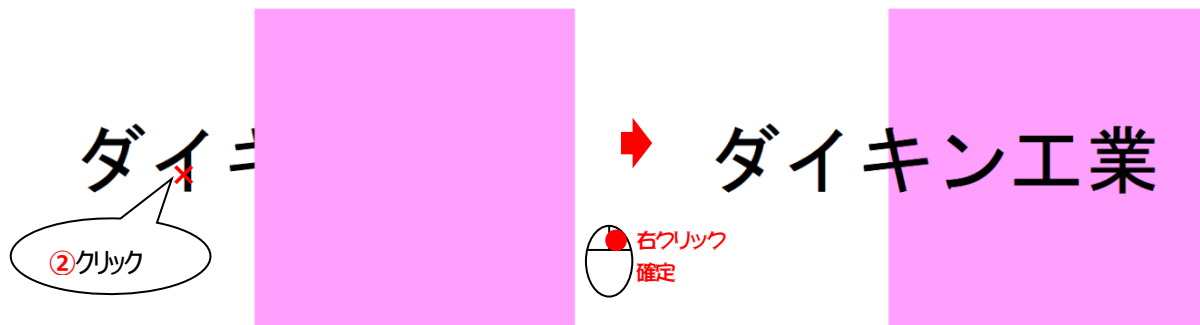
「最前面へ移動」「最背面へ移動」コマンドで移動した部品は「描画表示順制御」コマンドで、レイヤやシートの表示順を優先にしても表示順は変わりません。

最背面へ移動の手順も下記手順と同じです。

- ① リボンメニューの「表示」タブから「最前面へ移動」を選択します。



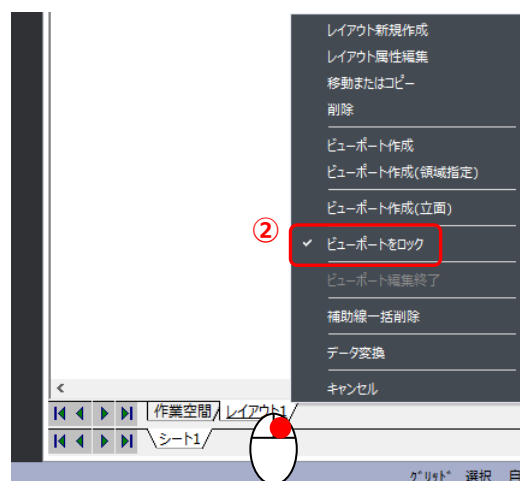
- ② 最前面へ移動する部品を選択し、右クリックで確定すると、選択した図形が最前面へ移動します。



ビューポートのロック

配置したビューポートを誤って選択しないようにロックをかけられるようになりました。

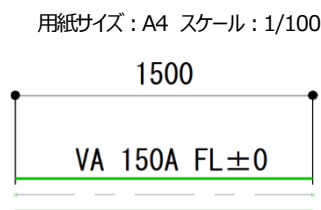
- ① ロックをするビューポートがあるレイアウトを右クリックします。
- ② ショートカットメニューの「ビューポートをロック」をクリックし、チェックを入れます。



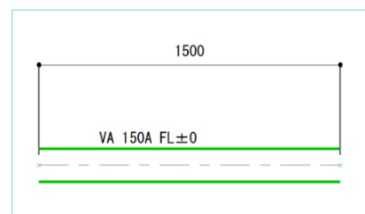
- ③ 再びロックを解除する場合は「ビューポートをロック」をクリックし、チェックを外します。
- ※ ビューポートのロックは、すべての図面に対して共通となります。

ビューポートスケール変更時の文字サイズ指定

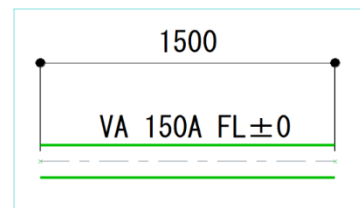
ビューポートのスケールを変更する際、文字サイズ、矢印サイズの設定ができるようになりました。
初期値で「印刷寸」となっていますので、スケールの違うビューポートを作成した場合でも、文字サイズは作業空間の文字サイズと同じサイズで表示されます。
以前のようにビューポートのスケールと文字サイズが追従してよい場合は「実寸」を選んでください。



ビューポートスケール : 1/50



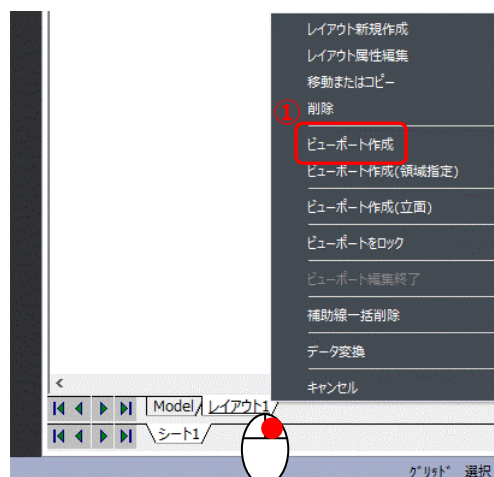
ビューポートスケール : 1/50



※注意事項※

「印刷寸」で作成したビューポートを含む図面を
FILDER 旧シリーズ形式、dxf/dwg 形式で保存した場合、
ビューポートは基本図形化された状態となります。

- ① レイアウトタブを右クリックし、ショートカットメニューから「ビューポート作成」を選択します。

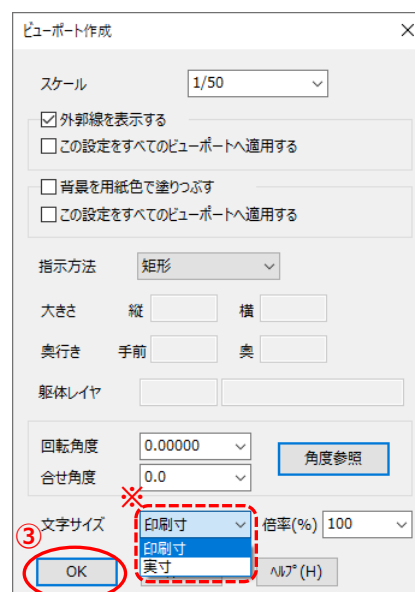


- ② 「ビューポート作成」ダイアログが表示されますので、文字サイズ、倍率を設定します。
以前のようにビューポートスケールに準じて文字サイズも大きくしたい場合は「実寸」を選択します。

印刷寸 : 印刷寸を選択すると、右側の倍率(%)が有効となり、印刷寸倍率で設定することができます。

例) 作業空間スケール 1/100・用紙サイズ A4 の場合
倍率を「200%」に設定すると、実寸に設定した際と同じ倍率になります。

実寸 : 右側の倍率(%)が無効となり、従来と同じ設定となります。

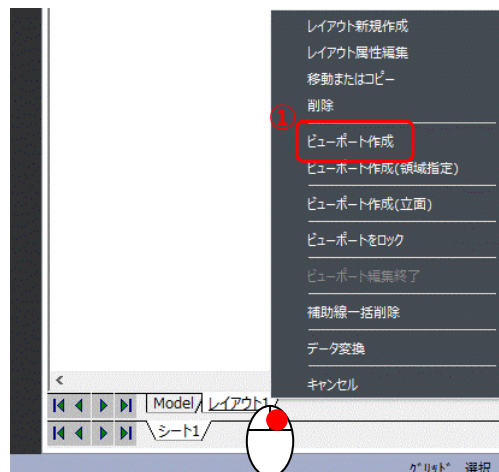


- ③ 「OK」ボタンをクリックします。

ビューポート作成時の配置基点指示

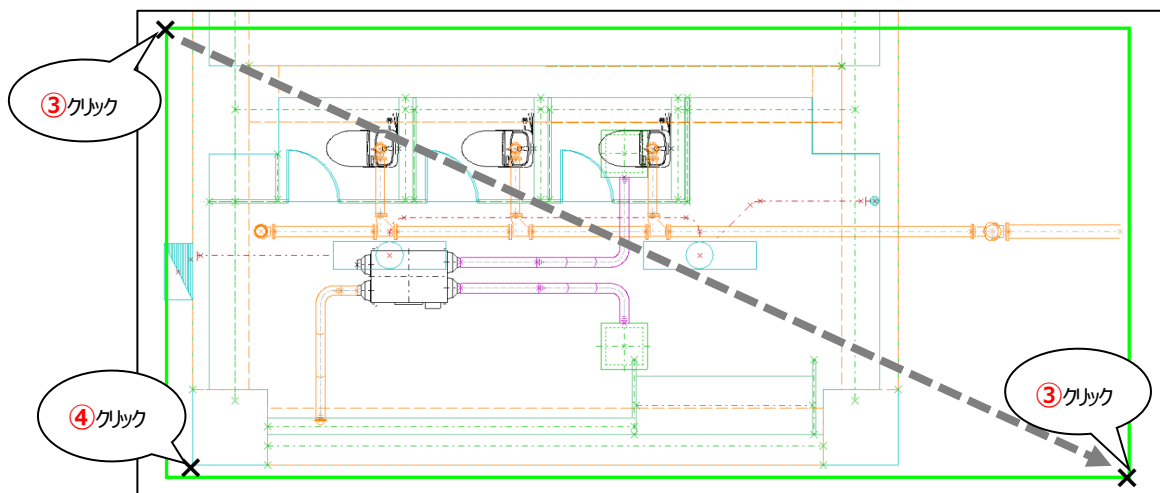
「ビューポート作成」、「ビューポート作成（立面）」を作成する際、配置基点を指定して配置するようになりました。
ここでは、例としてレイアウトタブは作成してあるものとし、ビューポート作成でご説明します。

- ① レイアウトタブを右クリックし、ショートカットメニューから「ビューポート作成」を選択します。



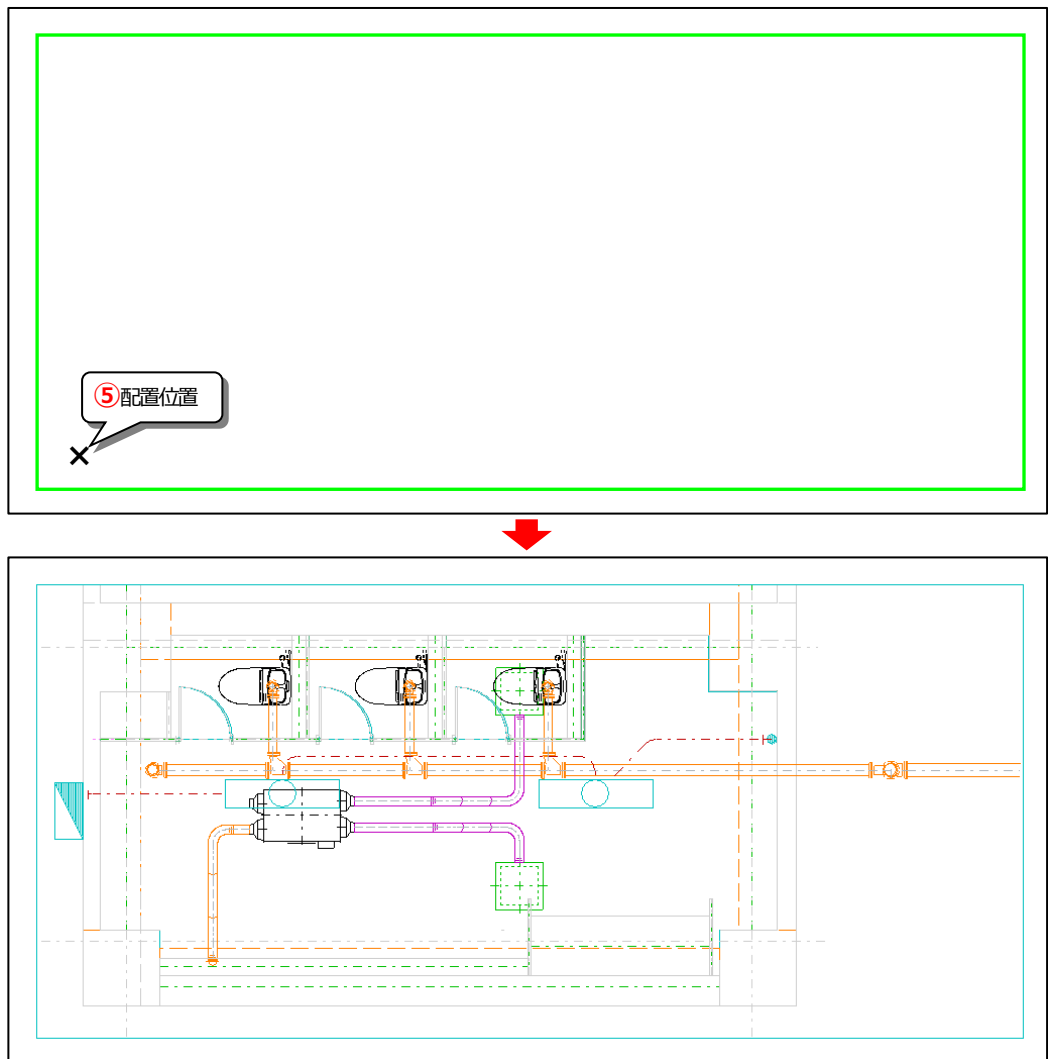
- ② 「ビューポート作成」ダイアログが表示されますので、設定をし、「OK」ボタンをクリックします。
ここでは、例として設定は変更せずにそのまま「OK」ボタンをクリックします。

- ③ ビューポートに表示する範囲を指定します。



- ④ 配置基点をクリックするか、右クリックで確定します。
右クリックで確定した場合、基点は選択範囲の左下となります。

- ⑤ 配置位置をクリックすると、ビューポートが作成できます。



電気シンボル（蛍光灯型）のサイズ

シンボル寸の電気シンボル（蛍光灯型）を配置する際、□型の電気シンボルの「長さ（L）」のサイズが、レイヤ、シートのスケールの比率で拡大・縮小されるようになりました。

それに伴い、シンボル寸の電気シンボル（蛍光灯型）を配置する際、□型の電気シンボルの「長さ（L）」には「倍率」がかけられなくなりました。なお、「長さ（L）」以外は従来通り倍率がかけられます。

この結果、全てのサイズが日本電設工業協会の「CAD シンボル寸法基準－2001 年版」に準拠します。

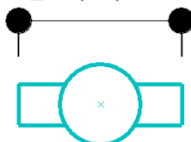
※ 上記は、シンボル寸かつ、[設定] → [電気設定] → [シンボル] の「倍率」の設定が「[シンボル寸]は、各スケールの倍率を使用」が ON の場合のみ対象となります。

※ 電気シンボル（蛍光灯型）は、「照明器具」フォルダ内の□型の電気シンボルを指します。

※ 「□型」とは日本電設工業協会の電気シンボルの説明で使われている用語です。

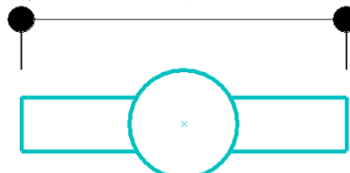
例) レイヤスケール 1/100

長さ (L) : 6mm



例) レイヤスケール 1/50

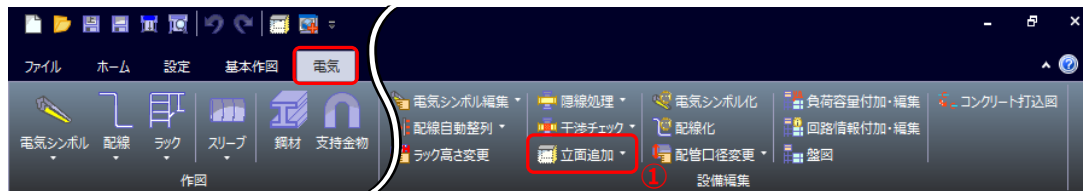
長さ (L) : 12mm



立面追加の表示面選択

立面追加時に一度に「正面」「右側面」「左側面」「背面」など表示できるようになりました。

- ① リボンメニューの「電気」タブから「立面追加」を選択します。

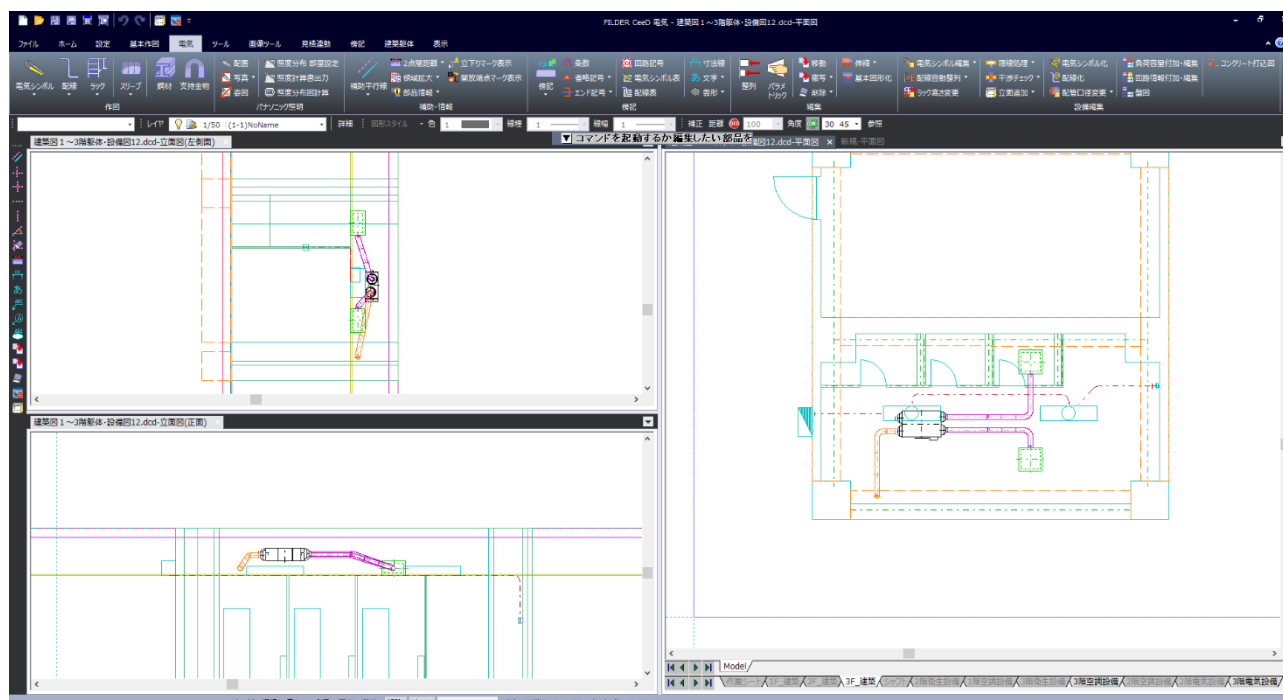


- ② 「立面追加」ダイアログが表示されますので、表示面にチェックを入れます。
ここでは、例として「正面」と「左側面」にチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックします。
※ チェックは次回立面追加起動時に保持されます。



- ③ 立面表示する範囲を指定し、右クリックで「確定」します。

- ④ 指定した表示面の立面が表示されます。



ワンポイント

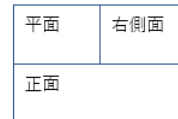


3面以上の画面配置

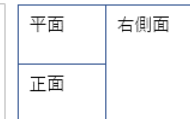
表示面を3面以上設定した場合、ダイアログの「3面以上の画面配置」でどの面を大きく表示するかを選択することができます。

表示面を3面選択した場合

3面以上を同時に表示するときは
● 正面／背面
○ 右側面／左側面
側を大きくする

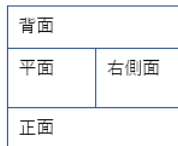


3面以上を同時に表示するときは
○ 正面／背面
● 右側面／左側面
側を大きくする

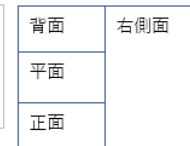


表示面を4面選択した場合

3面以上を同時に表示するときは
● 正面／背面
○ 右側面／左側面
側を大きくする

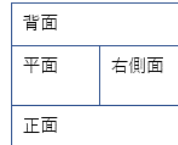


3面以上を同時に表示するときは
○ 正面／背面
● 右側面／左側面
側を大きくする

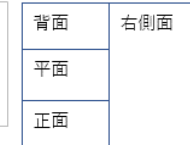


表示面を5面すべて選択した場合

3面以上を同時に表示するときは
● 正面／背面
○ 右側面／左側面
側を大きくする

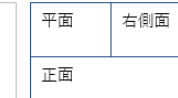


3面以上を同時に表示するときは
○ 正面／背面
● 右側面／左側面
側を大きくする

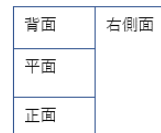


すでに立面がある状態で追加表示する場合 (例：背面を追加)

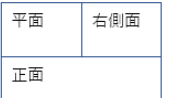
3面以上を同時に表示するときは
○ 正面／背面
● 右側面／左側面
側を大きくする



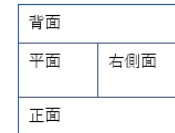
↓ 背面を追加



3面以上を同時に表示するときは
● 正面／背面
○ 右側面／左側面
側を大きくする



↓ 背面を追加



寸法線自動付加

寸法線自動付加のとき、寸法線作図途中に一般図形も選択できるようになりました。

※ 操作方法については「ユーザズガイド」をご参照ください。

伸縮端点決定方法

伸縮する際、伸縮する端点の選び方を「対象部品指示位置」か「伸縮先方向」に設定できるようになりました。

「伸縮先方向」は、伸縮する図形をクリックした位置より、どちら側を指示するかで端点が決定します。

「対象部品指示位置」は、今まで通りクリックした位置に近い端点を伸縮します。

※ 操作方法については「ユーザズガイド」をご参照ください。

「印刷色」「線幅」複数一括設定

「印刷色」「線幅」を複数一括変更できるようになりました。

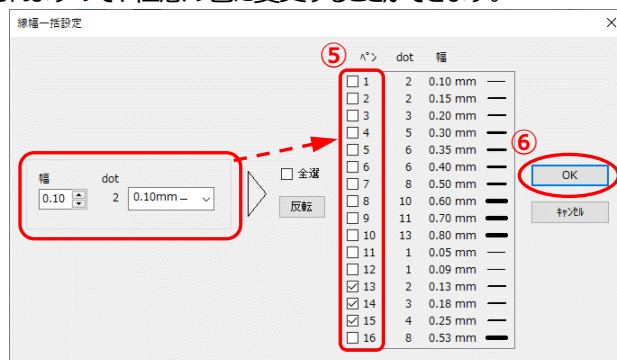
従来の「画面色→印刷色」ボタンは、印刷色一括設定ダイアログの「画面色に合わせる」をご利用ください。

- ① リボンメニューの「設定」タブから「環境設定」を選択します。
- ② 「システム設定」ダイアログが表示されますので、「印刷色・線幅」タブを選択します。

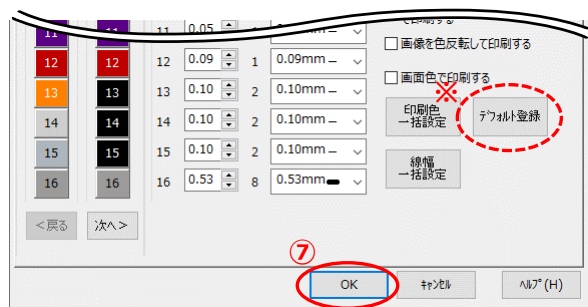


- ③ 「画面色で印刷する」のチェックを外します。
- ④ 「印刷色」を変更する場合は「印刷色一括設定」ボタン、「線幅」を変更する場合は「線幅一括設定」ボタンをクリックします。

- ⑤ 左側で色または線幅を指定し、変更する色またはペン番号にチェックを入れます。
- ※ 「指定した色」をクリックすると、「色の指定」ダイアログが表示されますので、任意の色に変更することができます。



- ⑥ 「OK」ボタンをクリックします。
 - ⑦ 「OK」ボタンをクリックし、設定を保存します。
- ※ 今後、この設定を新規図面で使用する場合、[デフォルト登録] ボタンをクリックします。



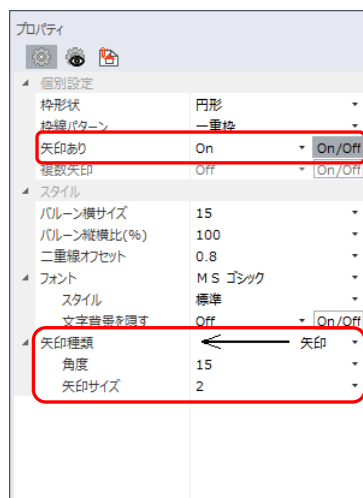
設定ダイアログ内名称表示

「環境設定」内「選択」タブのレイヤ名称を選択する際に名称が全て表示されるようになりました。
また、「寸法線設定」「配管設定」「ダクト設定」の線種を選択するプルダウンメニューの表示幅を広げ、長い線種名称も表示できるようになりました。

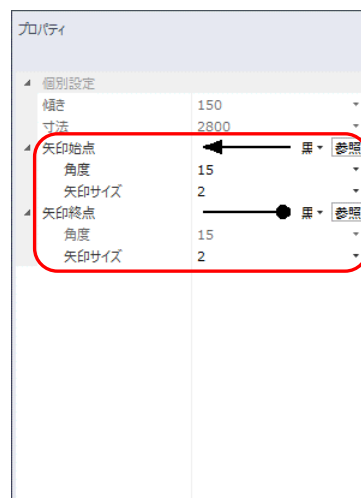
バルーン、線分の矢印付加・削除

バルーン、線分の矢印付加がプロパティで変更できるようになりました。
右クリックショートカットメニュー内の「矢印付加」メニューは無くなりました。

バルーンのプロパティ



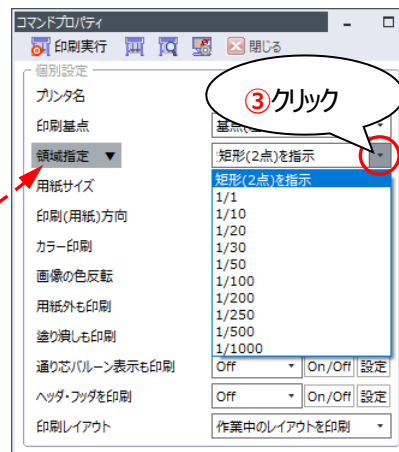
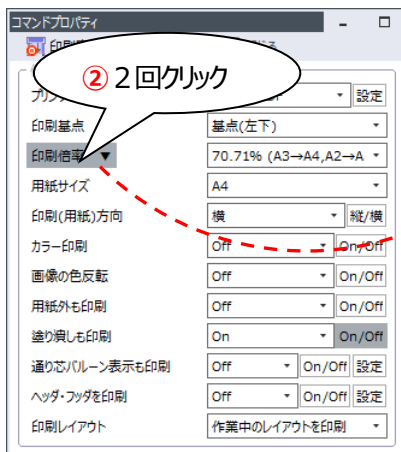
線分のプロパティ



印刷時の領域指定

印刷時に領域指定でスケールが指定できるようになりました。
コマンドプロパティの「印刷倍率」を 2 回クリックし、「領域指定」にし、右側の欄の▼をクリックし、プルダウンメニューからスケールを選択します。

※ 欄内をクリックすると、スケールの数値を直接入力して指定することができます。直接入力したスケールの履歴は、固定スケール一覧の下に入力した順に最大 5 個残ります。



電気シンボルの高さ基準設定

電気シンボルを配置する際、コマンドプロパティで配置高さ基準（下面、部品、上面、中心）を設定することができるようになりました。

※ 図面内の電気シンボルをワープした場合には高さ基準は取得されないで下面基準での配置となります。

- ① リボンメニューの「電気」タブから「電気シンボル」を選択します。
- ② 「電気シンボル配置」ダイアログから、配置する電気シンボルを選択します。
ここでは、例として「埋込押釦スイッチ（ON保持形）（パイロットランプ・防沫形プレート・リード線付）」を選択します。
- ③ コマンドプロパティの「配置高さ・基準」で、「下面」、「部品」、「上面」、「中心」から選択します。



- ④ 設定した配置高さ基準で電気シンボルを配置します。



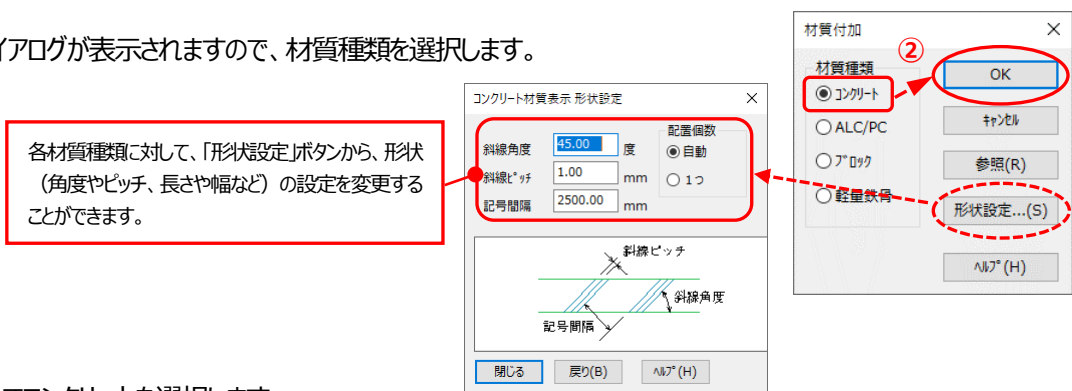
材質付加/材質解除

壁、円弧壁、角柱、円柱にコンクリート等の材質がわかるように、材質の表示を付加、解除できるようになりました。

- ① リボンメニューの「建築躯体」タブから「材質付加」を選択します。

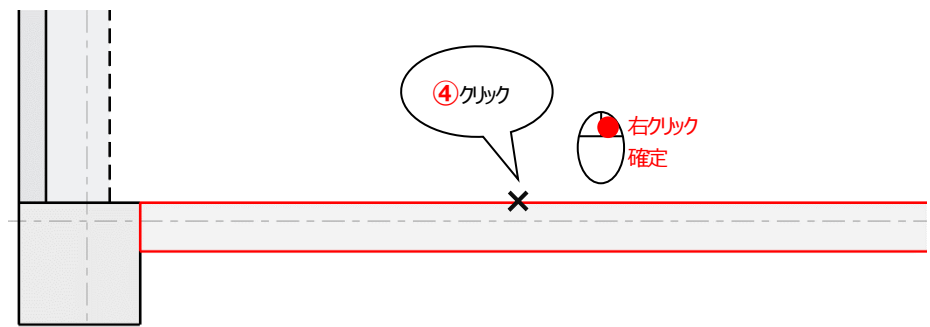


- ② 「材質付加」ダイアログが表示されますので、材質種類を選択します。

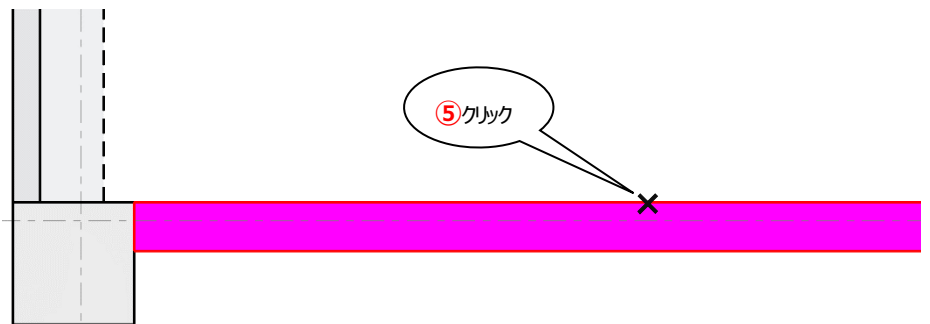


- ③ ここでは、例としてコンクリートを選択します。

- ④ 材質付加する躯体を選択し、右クリックで確定します。



- ⑤ 選択した躯体がハイライト表示されますので、材質付加する基点をクリックします。



- ⑥ 選択した躯体に材質付加されます。

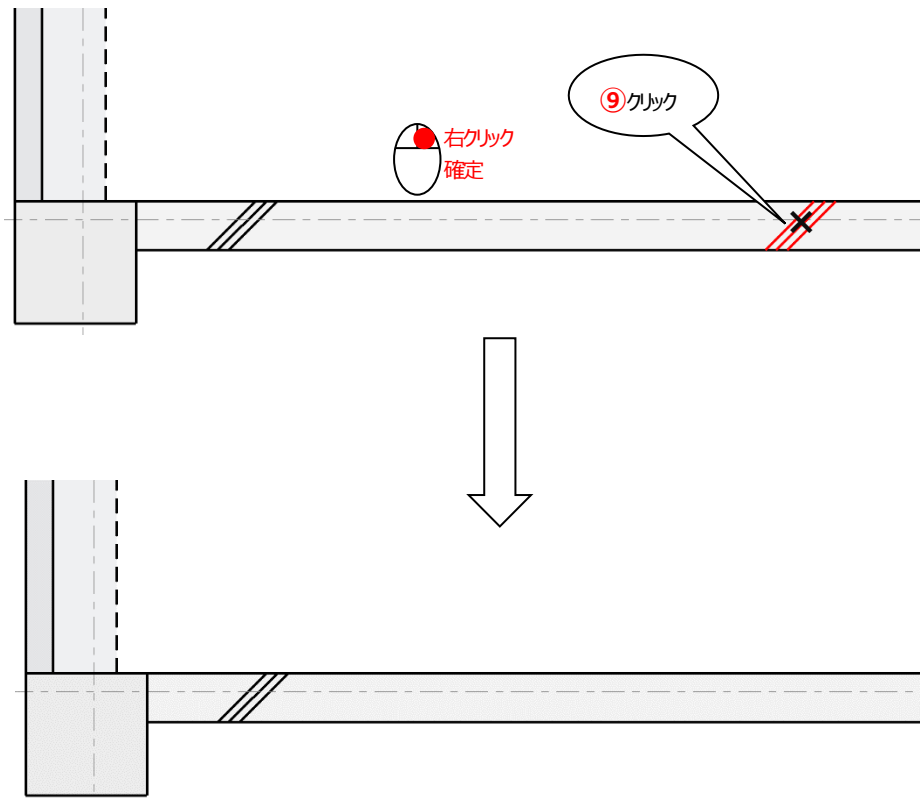


- ⑦ 続けて、材質付加をする場合は、③④を繰り返します。
終了する場合は、コマンドキャンセルします。

- ⑧ 材質解除する場合は、リボンメニューの「建築躯体」タブの「材質付加」から「材質解除」を選択します。



- ⑨ 解除する材質記号を選択し、右クリックで確定します。



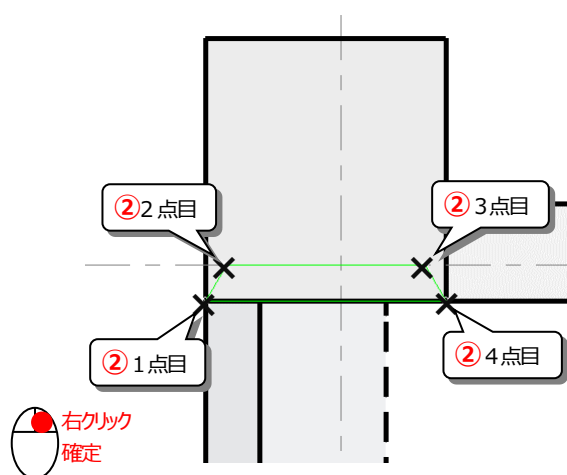
手動包絡

角柱、円柱、鉄骨角柱、壁、円弧壁、梁、斜梁、円弧梁、鉄骨梁、水平ハンチ／ドロップ、床スラブ、天井に、包絡処理では意図した形の包絡にならない場合、手動で部分的に包絡がかけられるようになりました。

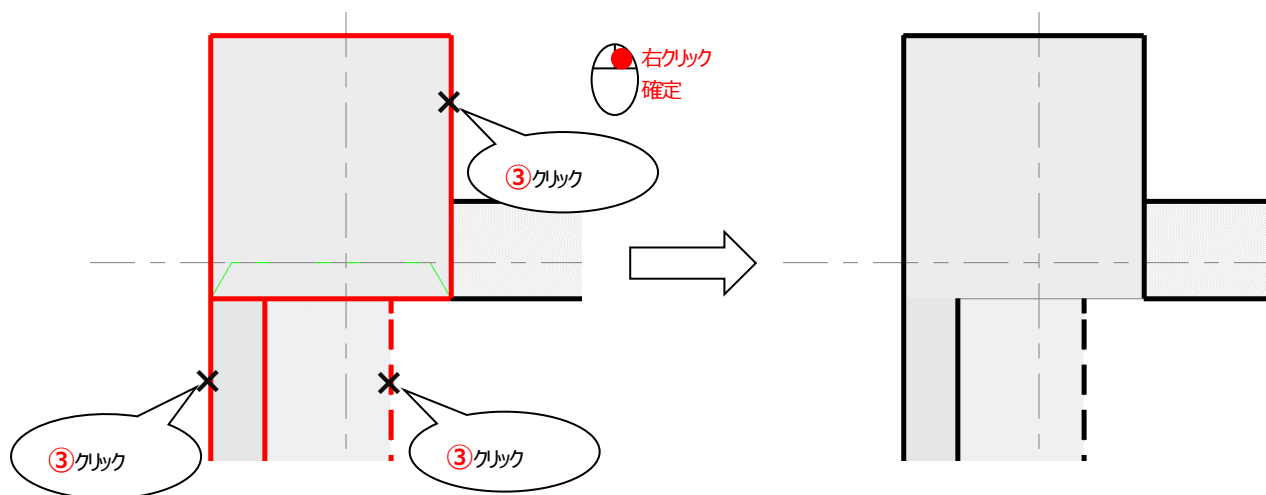
- ① リボンメニューの「建築躯体」タブの「包絡処理」から「手動包絡」を選択します。



- ② 包絡したい躯体の領域を指定し、右クリック確定します。



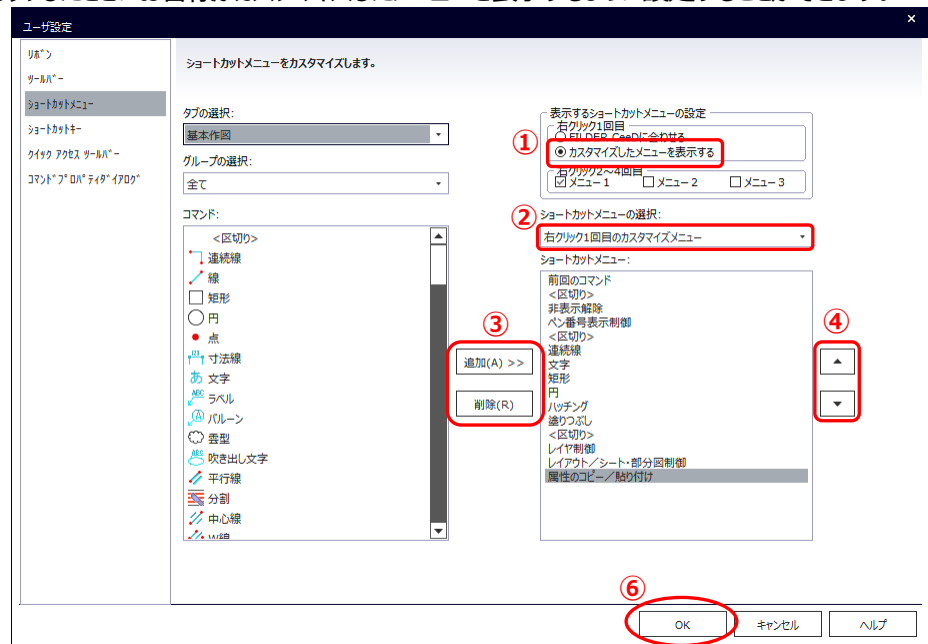
- ③ 包絡対象の躯体部品を選択し、右クリック確定します。





ショートカットメニュー設定

FILDER CeeD の 1 回目右クリックしたときにお客様がカスタマイズしたメニューを表示するように設定することができます。



- ① 表示するショートカットメニューの設定で、「カスタマイズしたメニューを表示する」を選択します。
- ② ショートカットメニューの選択で、「右クリック 1 回目のカスタマイズメニュー」を選択します。
- ③ ショートカットメニュー欄に表示されている項目を追加・削除します。
- ④ ショートカットメニューを並び替える場合は「▲」「▼」で順番を並び替えます。
- ⑤ 「OK」ボタンをクリックすると、次の操作から設定したショートカットメニューが 1 回目の右クリックで表示されます。





基本図形の属性コピー

基本図形の色／線幅／文字サイズなどをコピーし、別の基本図形に貼り付けられます。属性とはシート、レイヤ、色、線種、線幅、矢印サイズ、文字サイズなどのことを指します。対象部品は下記となります。

【対象部品】

線分、ポリライン、円、円弧、楕円、楕円弧、曲線（スプライン・ベジェ）、点、塗りつぶし、ハッチング、寸法線、文字、表文字、ラベル、吹き出し文字、バルーン、BOX、円柱、多角柱、表、グループ

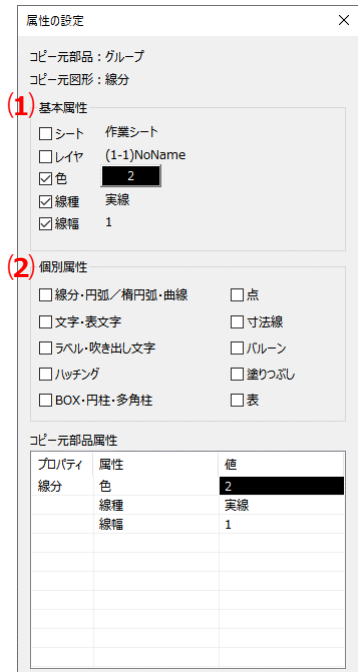
※ ポリラインは作図できませんが、他 CAD からの入力には対応しているため、対象となります。

コピー元図形をクリックする際、クリック位置によりコピーされる個別属性の情報が変わります。下記の個別属性コピーの概要の＜注意＞をご参照ください。

(1)基本属性：部品種類によらず、基本属性を持つ対象部品に属性がコピー／貼り付けされます。

(2)個別属性：個別属性は、その図形特有の属性となります。

同じ部品種類同士でのみ属性がコピー／貼り付けされます。
異なる部品種類同士では属性がコピー／貼り付けされません。
個別属性以外の図形は基本属性のみコピー／貼り付けします。個別属性の概要は以下となります。



個別属性コピーの概要	
線分・円弧／楕円弧・曲線（スプライン・ベジェ）	矢印付加の設定全て
表	コマンドプロパティ内の「セル設定」内のマージン上・下・右・左 ＜注意＞ 文字幅、文字間隔、基点情報変更時、セル内に文字が表示できなくなる設定値の場合にエラーメッセージダイアログが表示されるようになります。 電気シンボル表と配線表でセルのマージン上、下、左、右を小さい値に変更すると、文字幅が小さくなる場合があります。
文字、表文字	「文字サイズ設定」の「基本図形文字」タブ内の全ての設定 ＜注意＞ 基本作図の「文字」同士以外、文字配置基点をコピーしません。
寸法線	「寸法線設定」の設定 ＜注意＞ 寸法線の文字部分をクリックすると文字を含めた個別情報すべてコピーします。 寸法線や寸法補助線の部分をクリックすると、文字情報はコピーされません。
ラベル、吹き出し文字	コマンドプロパティ内の「スタイル」内の全ての設定 ＜注意＞ ラベルの矢印をコピーする場合、矢先をコピー元として選択しても、矢印はコピーされません。 水平線部分をクリックしても個別情報はコピーされません。 ラベルのコピー元は引出し線を選択してください。ただし、この場合文字情報はコピーされませんので、文字情報もコピーする場合は、再度「属性コピー／貼り付け」で文字情報をコピーしてください。
バルーン	コマンドプロパティ内の「個別設定」の「枠形状」、「枠線パターン」、「スタイル」内の全ての設定
ハッチング	コマンドプロパティの設定ボタンを押して表示されるダイアログ内の全ての設定
塗りつぶし	コマンドプロパティ内の「個別設定」の「色設定」、「透過率(%)」の設定 ※塗りつぶしは塗りつぶしのみ属性コピーできます。 ＜注意＞ 塗りつぶしのコピー元は図形の外形線を選択してください。 コピー先の塗りつぶし図形内をクリックすると「色設定」、「透過率(%)」がコピーされます。
BOX・円柱・多角柱	コマンドプロパティの「ハッチング・塗りつぶし・保温設定」内の設定
点	コマンドプロパティ内のサイズ、角度、種類の設定

クイックアクセスツールバーの設定読み込み

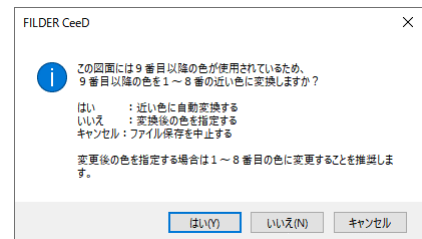
FILDER CeeD には「システム設定」画面－「環境設定」タブで環境設定ファイルの保存／読み込みを行える機能がありますが、この機能で「ユーザ設定」についても保存／読み込みを行っています。
読み込む際、クイックアクセスツールバーの設定も読み込みできるようになりました。

JWW に線色を設定して出力

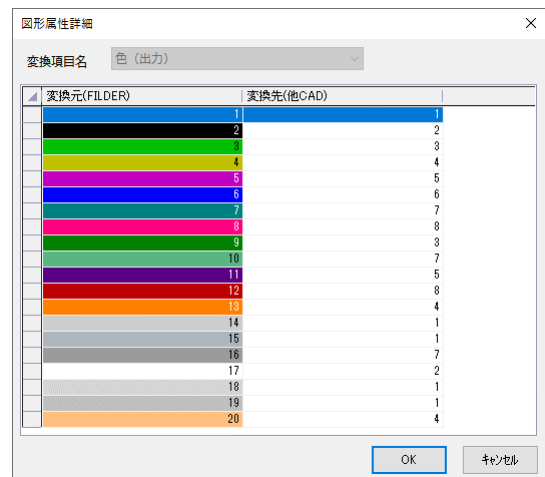
JWW 形式へのファイル保存時、FILDER CeeD の 9 番以降の線色・線幅を使用していた場合、JWW への線幅 1 ～ 8 番への線色を設定して出力することができます。

- FILDER CeeD で図面作図後、リボンメニューの「ファイル」タブから「名前を付けて保存」を選択します。
- 「ファイルの種類」で「JW-CAD ファイル(*.jww)」を選択し、「保存」ボタンをクリックします。
- 保存する図面に 9 番目以降の線色が使用されている場合、ダイアログが表示されます。

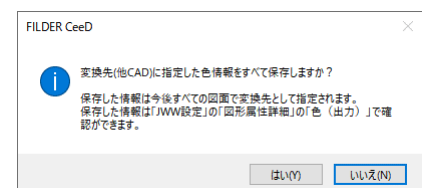
「はい」ボタン : 近い色に自動変換する
「いいえ」ボタン : 変換後の色を指定する
「キャンセル」ボタン : ファイル保存を中止する



- ③で「いいえ」ボタンを選択した場合、「図形属性詳細」ダイアログが表示され、出力する色の設定をすることができます。
変換先の番号を指定して「OK」ボタンをクリックすると、指定した色で出力保存します。



- ⑤ 「変換先(他 CAD)に指定した色情報をすべて保存しますか？」の確認ダイアログが表示されます。
「OK」ボタンをクリックすると、「図形属性詳細」が保存されます。

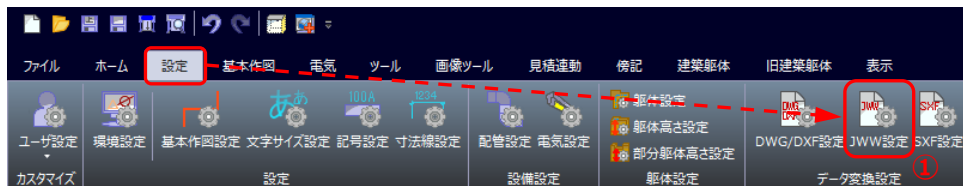


- レイアウト、シートをデータ変換する際も同様に③④の手順で色設定ができます。

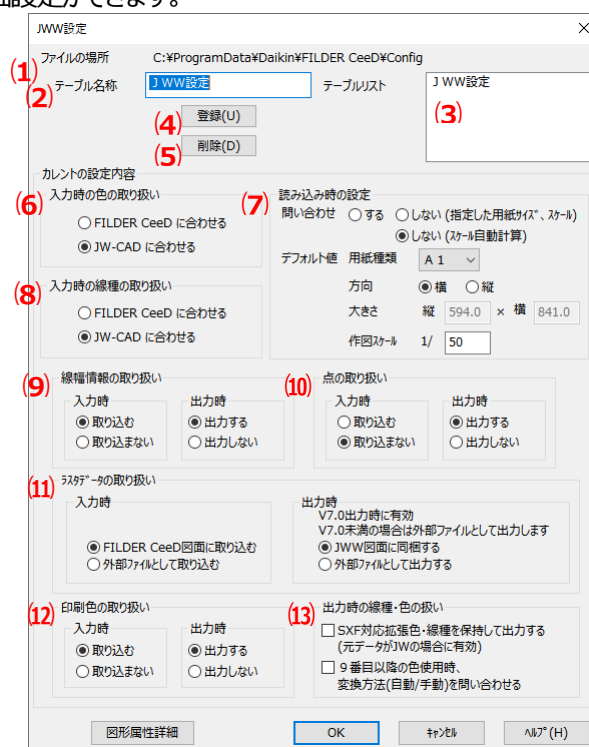
JWW 設定

JWW 設定を詳細に設定できるようになりました。

- ① リボンメニューの「設定」タブから「JWW 設定」を選択します。



- ② 「JWW 設定」ダイアログが表示されますので、読み込み時の詳細設定ができます。



- (1) **ファイルの場所**：設定を保存したテーブルが保存されている場所を表示します。
- (2) **テーブル名称**：「テーブルリスト」から選択したテーブル名称を表示します。新たにテーブルを登録する場合は、登録するテーブル名称を入力します。
- (3) **テーブルリスト**：すでに登録されているテーブル名称を表示します。クリックしたテーブルの設定が反映されます。
- (4) **【登録】ボタン**：「カレントの設定内容」の設定値を入力しているテーブル名称で登録します。
- (5) **【削除】ボタン**：テーブルリストから選択したテーブルを削除します。
- (6) **入力時の色の取り扱い**：読み込み時に FINDER CeeD の色設定に合わせるか、JW-CAD の色に合わせるかを選択します。
- (7) **読み込み時の設定**：読み込み時にスケールや用紙サイズの問い合わせをするか、しないかの設定をします。
※ 異スケールレイヤが混在する図面を読み込む場合、問い合わせを「しない(スケール自動計算)」で読み込んでください。
- (8) **入力時の線種の取り扱い**：読み込み時に FINDER CeeD の線種設定に合わせるか、JW-CAD の線種に合わせるかを選択します。
- (9) **入出力時の線幅情報の取扱い**：入力時に線幅（ペン番号）情報を取り込むか、取り込まないか、出力時に線幅（ペン番号）情報を出力するか、出力しないかを選択します。
- (10) **入出力時の点の取扱い**：入力時に点を取り込むか、取り込まないか、出力時に点を出力するか、出力しないかを選択します。
- (11) **入出力時のラスタデータの取扱い**：図面に貼付いたラスタデータを、図面の中に取り込んで読み込むか、外部ファイルとして読み込むか、図面に同梱して出力するか、外部ファイルとして出力するかを選択します。
- (12) **入出力時の印刷色の取扱い**：入力時に印刷色を取り込むか、取り込まないか、出力時に印刷色を出力するか、出力しないかを選択します。
- (13) **出力時の線種・色の扱い**：線色、線種を SXF 対応拡張色・線種を保持して出力する場合はチェックを入れます。前ページ「JWW に線色を設定して出力」の③のダイアログを出すかどうかの設定をします。

JWW の画像データ入出力

JW-CAD とのやり取りで、画像が貼付いた図面を入出力できるようになりました。

JWW の塗りつぶし入出力

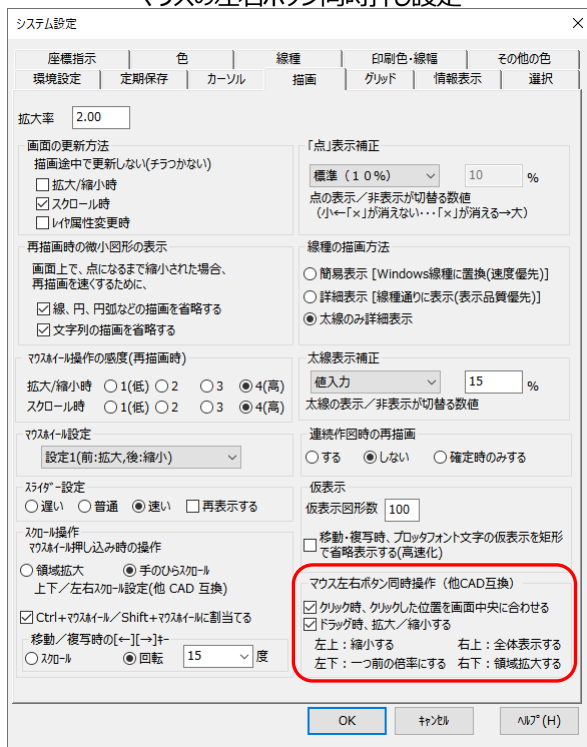
JW-CAD とのやり取りで、塗りつぶしを配置した図面を入出力できるようになりました。

マウスの JWW ライク操作設定

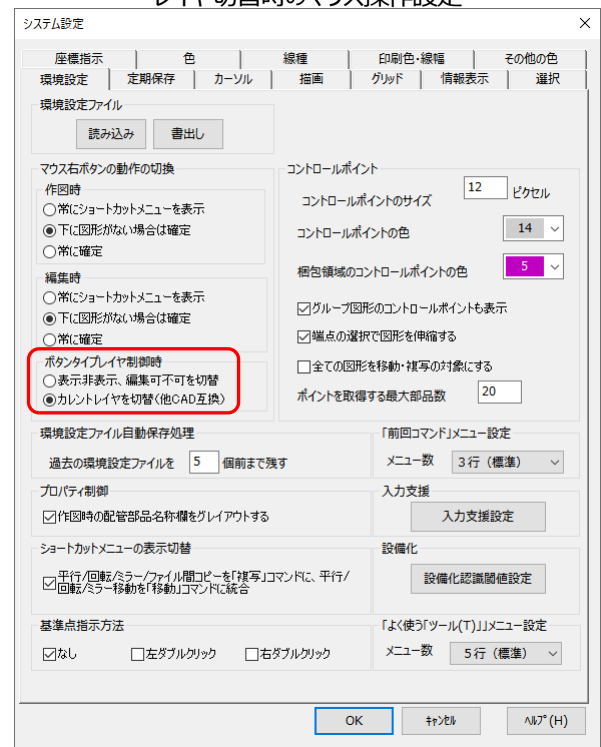
FILDER CeeD で下記項目の設定ができます。

- ・マウスの左右ボタンの同時押し込み状態でドラッグで、図面の拡大／縮小をする
- ・マウスの左右ボタンの同時クリックで、図面上のクリックした位置を画面の中央に移動する
- ・レイヤを切り替えるときのマウスの左右ボタンを逆にする

マウスの左右ボタン同時押し設定



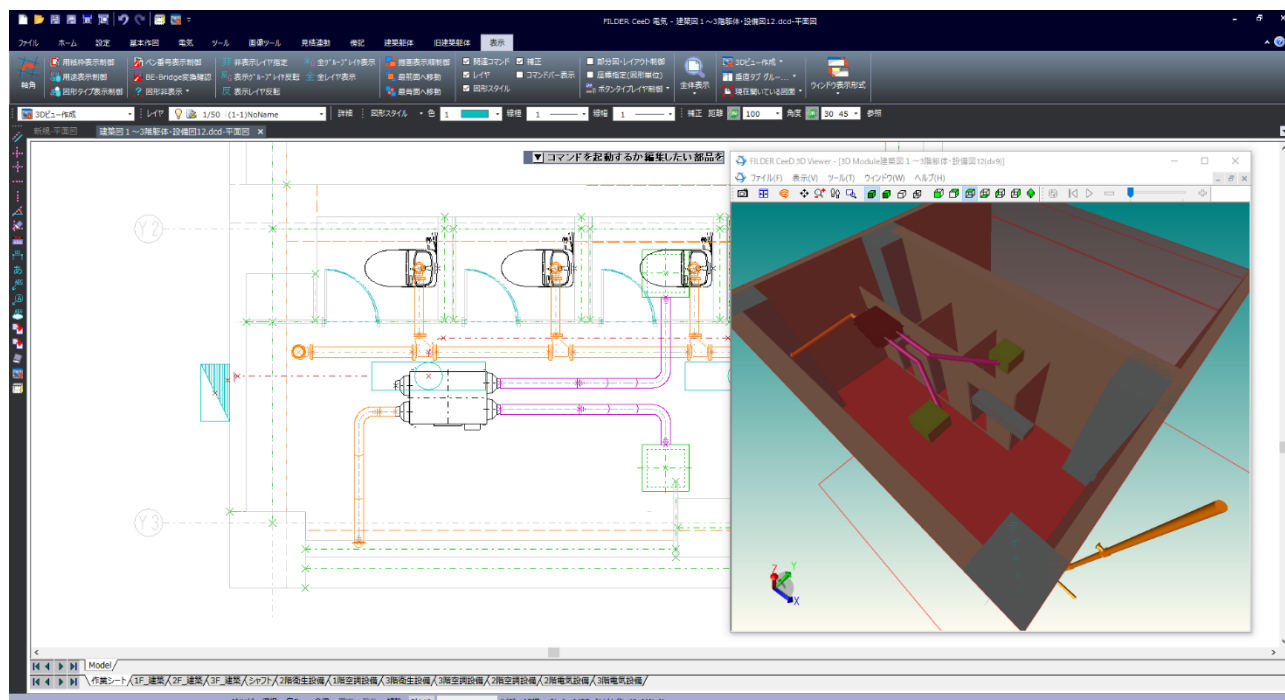
レイヤ切替時のマウス操作設定





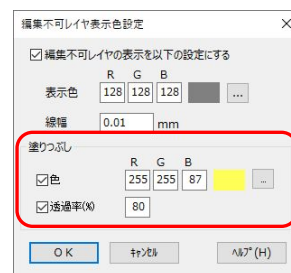
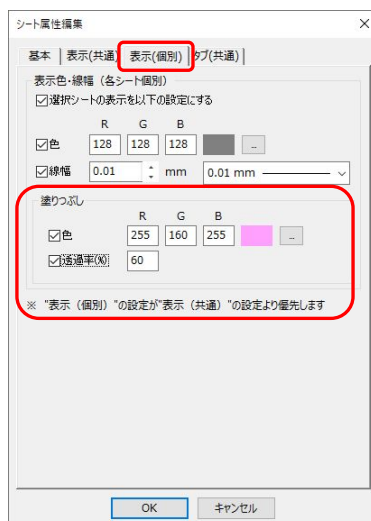
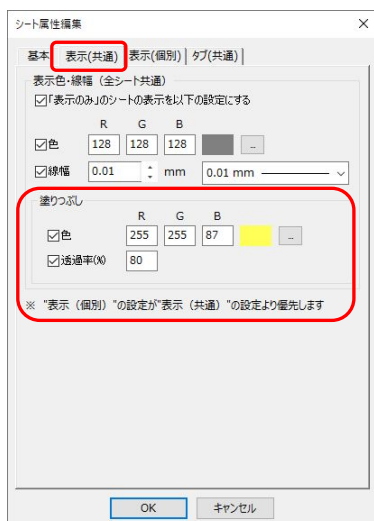
FILDER CeeD 電気版での配管・ダクトの 3D 表示

FILDER CeeD 電気版でも、図面に存在するダクトと配管が 3D 表示され確認できます。



シート、レイヤの塗りつぶし設定

「シート属性編集」の「表示(共通)」タブ、「表示(個別)」タブ、「編集不可色設定」でシートやレイヤで塗りつぶしの色・透過率の設定をすることができます。



コマンド名の変更／コマンド位置変更・追加

機器ライブラリ	→	[電気] - [電気シンボル] - [機器ライブラリ]
配線	→	[電気] - [配線] - [配線]
シンボル配置	→	[基本作図] - [図形挿入] - [シンボル配置]
シンボル登録	→	[基本作図] - [図形挿入] - [シンボル登録]
立面追加	→	[電気] - [立面追加] - [立面追加] [ツール] - [立面貼付け] - [立面追加]
立面貼付け	→	[電気] - [立面追加] - [立面貼付け] [ツール] - [立面貼付け] - [立面貼付け]
区分作成	→	[見積連動] - [区分作成]
拾い	→	[見積連動] - [拾い]
サイズ記号	[ツール] -	[サイズ記号] - [サイズ記号] [電気] - [傍記] - [サイズ記号] [傍記] - [サイズ記号] - [サイズ記号]
ラベル	→	[基本作図] - [文字] - [ラベル] [電気] - [文字] - [ラベル] [傍記] - [ラベル] - [ラベル]
バルーン	→	[基本作図] - [文字] - [バルーン] [電気] - [文字] - [バルーン] [傍記] - [ラベル] - [バルーン]
吹き出し文字	→	[基本作図] - [雲形] - [吹き出し文字] [電気] - [雲形] - [吹き出し文字] [傍記] - [雲形] - [吹き出し文字]
2点間距離	→	[ホーム] - [領域拡大] - [2点間距離] [基本作図] - [領域拡大] - [2点間距離] [電気] - [領域拡大] - [2点間距離] [ツール] - [領域拡大] - [2点間距離] [画像ツール] - [領域拡大] - [2点間距離] [建築躯体] - [領域拡大] - [2点間距離] [表示] - [全体表示] - [2点間距離]
累積距離	→	[ホーム] - [領域拡大] - [累積距離] [基本作図] - [領域拡大] - [累積距離] [電気] - [領域拡大] - [累積距離] [ツール] - [領域拡大] - [累積距離] [画像ツール] - [領域拡大] - [累積距離] [建築躯体] - [領域拡大] - [累積距離] [表示] - [全体表示] - [累積距離]
角度解析	→	[ホーム] - [領域拡大] - [角度解析] [基本作図] - [領域拡大] - [角度解析] [電気] - [領域拡大] - [角度解析] [ツール] - [領域拡大] - [角度解析] [画像ツール] - [領域拡大] - [角度解析] [建築躯体] - [領域拡大] - [角度解析] [表示] - [全体表示] - [角度解析]

面積計算	→	[ホーム] - [領域拡大] - [面積計算] [基本作図] - [領域拡大] - [面積計算] [電気] - [領域拡大] - [面積計算] [ツール] - [領域拡大] - [面積計算] [画像ツール] - [領域拡大] - [面積計算] [建築躯体] - [領域拡大] - [面積計算] [表示] - [全体表示] - [面積計算]
領域拡大	→	[ホーム] - [領域拡大] - [領域拡大] [基本作図] - [領域拡大] - [領域拡大] [電気] - [領域拡大] - [領域拡大] [ツール] - [領域拡大] - [領域拡大] [画像ツール] - [領域拡大] - [領域拡大] [建築躯体] - [領域拡大] - [領域拡大] [表示] - [全体表示] - [領域拡大]
基準スケール表示	→	[ホーム] - [領域拡大] - [基準スケール] [基本作図] - [領域拡大] - [基準スケール] [電気] - [領域拡大] - [基準スケール] [ツール] - [領域拡大] - [基準スケール] [画像ツール] - [領域拡大] - [基準スケール] [建築躯体] - [領域拡大] - [基準スケール] [表示] - [全体表示] - [基準スケール]
全体表示	→	[ホーム] - [領域拡大] - [全体表示] [基本作図] - [領域拡大] - [全体表示] [電気] - [領域拡大] - [全体表示] [ツール] - [領域拡大] - [全体表示] [画像ツール] - [領域拡大] - [全体表示] [建築躯体] - [領域拡大] - [全体表示] [表示] - [全体表示] - [全体表示]
部品情報	→	[ホーム] - [部品情報] - [部品情報] [基本作図] - [部品情報] - [部品情報] [電気] - [部品情報] - [部品情報] [ツール] - [部品情報] - [部品情報] [画像ツール] - [部品情報] - [部品情報] [建築躯体] - [部品情報] - [部品情報]
図形情報	→	[ホーム] - [部品情報] - [図形情報] [基本作図] - [部品情報] - [図形情報] [電気] - [部品情報] - [図形情報] [ツール] - [部品情報] - [図形情報] [画像ツール] - [部品情報] - [図形情報] [建築躯体] - [部品情報] - [図形情報]
属性取得	→	[ホーム] - [部品情報] - [属性取得] [基本作図] - [部品情報] - [属性取得] [電気] - [部品情報] - [属性取得] [ツール] - [部品情報] - [属性取得] [画像ツール] - [部品情報] - [属性取得] [建築躯体] - [部品情報] - [属性取得]
レイヤ参照	→	[ホーム] - [部品情報] - [レイヤ参照] [基本作図] - [部品情報] - [レイヤ参照] [電気] - [部品情報] - [レイヤ参照] [ツール] - [部品情報] - [レイヤ参照] [画像ツール] - [部品情報] - [レイヤ参照] [建築躯体] - [部品情報] - [レイヤ参照]

画像原寸貼付け	→	[ホーム] - [画像原寸貼付け] [ツール] - [クリップボードコピー] - [画像原寸貼付け]
画像領域指示貼付け	→	[ホーム] - [画像領域貼付け] [ツール] - [クリップボードコピー] - [画像領域貼付け]
点	→	[基本作図] - [円] - [点]
接線	→	[基本作図] - [曲線] - [接線]
曲線	→	[基本作図] - [曲線] - [曲線]
BOX・円柱	→	[基本作図] - [BOX] - [BOX] [基本作図] - [BOX] - [円柱]
雲型	→	[基本作図] - [雲形] - [雲形] [電気] - [雲形] - [雲形] [傍記] - [雲形] - [雲形]
図形挿入	→	[基本作図] - [図形挿入] - [図形挿入]
移動	→	[基本作図] - [移動] - [移動] [電気] - [移動] [建築躯体] - [移動] [躯体トレース] - [移動]
整列	→	[基本作図] - [整列] - [整列] [電気] - [整列] - [整列] [建築躯体] - [変形] - [整列]
パラメトリック	→	[基本作図] - [パラメトリック] [電気] - [パラメトリック] [建築躯体] - [パラメトリック]
複写	→	[基本作図] - [複写] - [複写] [電気] - [複写] - [複写] [建築躯体] - [複写] - [複写]
分割	→	[基本作図] - [分割]
伸縮	→	[基本作図] - [伸縮] - [伸縮] [電気] - [伸縮] - [伸縮] [建築躯体] - [伸縮]
図形拡大・縮小（スケール合わせ）	→	[基本作図] - [伸縮] - [図形拡大・縮小（スケール合わせ）] [ホーム] - [スケール合わせ]
一般作図化	→	[基本作図] - [基本作図化] [電気] - [基本作図化] [傍記] - [基本作図化] [建築躯体] - [基本作図化]
コーナー処理	→	[基本作図] - [片トリム] - [コーナー処理]
面取り	→	[基本作図] - [片トリム] - [面取り]
包絡	→	[基本作図] - [片トリム] - [包絡]

矢印付加		[基本作図] - [図形属性変更] - [矢印付加]
ハッチングカット	→	[基本作図] - [ハッチング変更] - [ハッチングカット]
塗りつぶしカット	→	[基本作図] - [ハッチング変更] - [塗りつぶしカット]
図形属性変更	→	[基本作図] - [図形属性変更] - [図形属性変更]
補助平行線	→	[ホーム] - [補助平行線] - [補助平行線] [基本作図] - [補助平行線] - [補助平行線] [電気] - [補助平行線] - [補助平行線] [ツール] - [補助平行線] - [補助平行線] [画像ツール] - [補助平行線] - [補助平行線] [傍記] - [補助平行線] - [補助平行線] [建築躯体] - [補助平行線] - [補助平行線]
補助線	→	[ホーム] - [補助平行線] - [補助線] [基本作図] - [補助平行線] - [補助線] [電気] - [補助平行線] - [補助線] [ツール] - [補助平行線] - [補助線] [画像ツール] - [補助平行線] - [補助線] [傍記] - [補助平行線] - [補助線] [建築躯体] - [補助平行線] - [補助線]
補助水平線	→	[ホーム] - [補助平行線] - [補助水平線] [基本作図] - [補助平行線] - [補助水平線] [電気] - [補助平行線] - [補助水平線] [ツール] - [補助平行線] - [補助水平線] [画像ツール] - [補助平行線] - [補助水平線] [傍記] - [補助平行線] - [補助水平線] [建築躯体] - [補助平行線] - [補助水平線]
補助垂直線	→	[ホーム] - [補助平行線] - [補助垂直線] [基本作図] - [補助平行線] - [補助垂直線] [電気] - [補助平行線] - [補助垂直線] [ツール] - [補助平行線] - [補助垂直線] [画像ツール] - [補助平行線] - [補助垂直線] [傍記] - [補助平行線] - [補助垂直線] [建築躯体] - [補助平行線] - [補助垂直線]
補助角度指定線分	→	[ホーム] - [補助平行線] - [補助角度指定線分] [基本作図] - [補助平行線] - [補助角度指定線分] [電気] - [補助平行線] - [補助角度指定線分] [ツール] - [補助平行線] - [補助角度指定線分] [画像ツール] - [補助平行線] - [補助角度指定線分] [傍記] - [補助平行線] - [補助角度指定線分] [建築躯体] - [補助平行線] - [補助角度指定線分]
補助直交線分	→	[ホーム] - [補助平行線] - [補助直交線分] [基本作図] - [補助平行線] - [補助直交線分] [電気] - [補助平行線] - [補助直交線分] [ツール] - [補助平行線] - [補助直交線分] [画像ツール] - [補助平行線] - [補助直交線分] [傍記] - [補助平行線] - [補助直交線分] [建築躯体] - [補助平行線] - [補助直交線分]
補助円	→	[ホーム] - [補助平行線] - [補助円] [基本作図] - [補助平行線] - [補助円] [電気] - [補助平行線] - [補助円] [ツール] - [補助平行線] - [補助円]

補助線領域指定	→	[画像ツール] - [補助平行線] - [補助円]
		[傍記] - [補助平行線] - [補助円]
		[建築躯体] - [補助平行線] - [補助円]
		[ホーム] - [補助平行線] - [補助線領域指定]
		[基本作図] - [補助平行線] - [補助線領域指定]
		[電気] - [補助平行線] - [補助線領域指定]
		[ツール] - [補助平行線] - [補助線領域指定]
		[画像ツール] - [補助平行線] - [補助線領域指定]
補助線削除	→	[傍記] - [補助平行線] - [補助線領域指定]
		[建築躯体] - [補助平行線] - [補助線領域指定]
		[ホーム] - [補助平行線] - [補助線削除]
		[基本作図] - [補助平行線] - [補助線削除]
		[電気] - [補助平行線] - [補助線削除]
		[ツール] - [補助平行線] - [補助線削除]
		[画面ツール] - [補助平行線] - [補助線削除]
		[傍記] - [補助平行線] - [補助線削除]
補助線一括削除	→	[建築躯体] - [補助平行線] - [補助線削除]
		[ホーム] - [補助平行線] - [補助線一括削除]
		[基本作図] - [補助平行線] - [補助線一括削除]
		[電気] - [補助平行線] - [補助線一括削除]
		[ツール] - [補助平行線] - [補助線一括削除]
		[画像ツール] - [補助平行線] - [補助線一括削除]
		[傍記] - [補助平行線] - [補助線一括削除]
		[建築躯体] - [補助平行線] - [補助線一括削除]
伸縮移動	→	[電気] - [伸縮] - [伸縮移動]
寸法値修正移動	→	[電気] - [伸縮] - [寸法値修正移動]
		[傍記] - [寸法線] - [寸法値修正移動]
寸法線追加・分割	→	[傍記] - [寸法線] - [寸法線追加・分割]
配管口径変更	→	[電気] - [配管口径変更] - [配管口径変更]
配管高さ変更	→	[電気] - [配管口径変更] - [配管高さ変更]
単複変換	→	[電気] - [配管口径変更] - [単複変換]
サイズ記号文字移動	→	[傍記] - [サイズ記号] - [サイズ記号文字移動]
		[電気] - [傍記] - [サイズ記号文字移動]
サイズ文字編集	→	[傍記] - [サイズ記号] - [サイズ文字編集]
		[電気] - [傍記] - [サイズ文字編集]
管端記号	→	[電気] - [傍記] - [管端記号]
立管寸法	→	[傍記] - [立管寸法] - [立管寸法]
		[電気] - [傍記] - [立管寸法]
立下りマーク表示	→	[電気] - [立下りマーク表示]
開放端点マーク表示	→	[電気] - [開放端点マーク表示]
図面	→	[画像ツール] - [図面]
写真・イラスト	→	[画像ツール] - [写真・イラスト]
画像補正	→	[画像ツール] - [画像補正] - [画像補正]

画像反転	→	[画像ツール] - [画像補正] - [画像反転]
画像調整	→	[画像ツール] - [画像補正] - [画像調整]
消しゴム	→	[画像ツール] - [消しゴム]
画像塗りつぶし	→	[画像ツール] - [画像塗りつぶし]
画像一辺カット	→	[画像ツール] - [画像補正] - [画像一辺カット]
画像移動	→	[画像ツール] - [画像移動] - [画像移動]
画像複写	→	[画像ツール] - [画像移動] - [画像複写]
画像削除	→	[画像ツール] - [画像移動] - [画像削除]
ファイル出力	→	[画像ツール] - [ファイル出力]
画像ロック	→	[画像ツール] - [画像ロック]
外枠表示	→	[画像ツール] - [外枠表示]
画像出力	→	[画像ツール] - [画像出力]
区分作成	→	[見積連動] - [区分作成] - [区分作成]
拾い	→	[見積連動] - [拾い]
寸法線基点変更	→	[傍記] - [寸法線] - [寸法線基点変更]
寸法線移動	→	[傍記] - [寸法線] - [寸法線移動]
寸法線分割	→	[傍記] - [寸法線] - [寸法線分割]
寸法線合算	→	[傍記] - [寸法線] - [寸法線合算]
寸法補助線変更	→	[傍記] - [寸法線] - [寸法補助線変更]
寸法補助線表示制御	→	[傍記] - [寸法線] - [寸法補助線表示制御]
矢印変更	→	[傍記] - [寸法線] - [矢印変更]
寸法矢印位置変更	→	[傍記] - [寸法線] - [寸法矢印位置変更]
寸法線設定変更	→	[傍記] - [寸法線] - [寸法線設定変更]
寸法値修正	→	[傍記] - [寸法線] - [寸法値修正]
寸法値移動	→	[傍記] - [寸法線] - [寸法値移動]
寸法値表示桁数変更	→	[傍記] - [寸法線] - [寸法値表示桁数変更]
バルーン・ラベル移動	→	[傍記] - [ラベル] - [バルーン・ラベル移動]
バルーン・ラベル矢印付加	→	[傍記] - [ラベル] - [バルーン・ラベル矢印付加]
バルーン・ラベル・サイズ記号線種変更	→	[傍記] - [サイズ記号] - [バルーン・ラベル・サイズ記号線種変更]

サイズ・系統記号一括付加

→ [傍記] - [サイズ記号] - [サイズ・系統記号一括付加]

コンクリート角柱 (躯体化)

→ [建築躯体] - [通り芯 (躯体化)] - [コンクリート角柱 (躯体化)]

コンクリート円柱 (躯体化)

→ [建築躯体] - [通り芯 (躯体化)] - [コンクリート円柱 (躯体化)]

鉄骨角柱 (躯体化)

→ [建築躯体] - [通り芯 (躯体化)] - [鉄骨角柱 (躯体化)]

壁 (躯体化)

→ [建築躯体] - [通り芯 (躯体化)] - [壁 (躯体化)]

コンクリート梁 (躯体化)

→ [建築躯体] - [通り芯 (躯体化)] - [コンクリート梁 (躯体化)]

円弧コンクリート梁 (躯体化)

→ [建築躯体] - [通り芯 (躯体化)] - [円弧コンクリート梁 (躯体化)]

鉄骨梁 (躯体化)

→ [建築躯体] - [通り芯 (躯体化)] - [鉄骨梁 (躯体化)]

階段 (躯体化)

→ [建築躯体] - [通り芯 (躯体化)] - [階段 (躯体化)]

サイジング制御

→ [表示] - [サイジング制御]

メジャー表示

→ [表示] - [メジャー表示]

勾配設定表示

→ [表示] - [勾配設定表示]

コマンドバー表示

→ [表示] - [コマンドバー表示]

JWW タイプレイヤ制御

→ [表示] - [ボタンタイプレイヤ制御]



新規追加になったコマンド

[ファイル] - [他 CAD 設定互換&再起動]

[ホーム] - [領域拡大] - [縮小]

[基本作図] - [領域拡大] - [縮小]

[電気] - [領域拡大] - [縮小]

[ツール] - [領域拡大] - [縮小]

[画像ツール] - [領域拡大] - [縮小]

[傍記] - [領域拡大] - [縮小]

[建築躯体] - [領域拡大] - [縮小]

[ホーム] - [領域拡大] - [前倍率]

[基本作図] - [領域拡大] - [前倍率]

[電気] - [領域拡大] - [前倍率]

[ツール] - [領域拡大] - [前倍率]

[画像ツール] - [領域拡大] - [前倍率]

[傍記] - [領域拡大] - [前倍率]

[建築躯体] - [領域拡大] - [前倍率]

[ホーム] - [図面比較ファイル指定]

[ツール] - [図面比較ファイル指定]

[ホーム] - [図面比較詳細指定]

[ツール] - [図面比較詳細指定]

[ホーム] - [比較結果一覧]

[ツール] - [比較結果一覧]

[ホーム] - [よくある質問]

[ホーム] - [Word]

[ホーム] - [Excel]

[設定] - [ユーザ設定] - [ツールバー設定]

[設定] - [ユーザ設定] - [コマンドプロパティ設定]

[基本作図] - [ハッチング変更] - [ハッチング・塗りつぶし形状変更]

[基本作図] - [文字編集] - [文字行分解]

[基本作図] - [文字編集] - [範囲図形→文字]

[基本作図] - [複写] - [画面間コピー]

[電気] - [複写] - [画面間コピー]

[建築躯体] - [複写] - [画面間コピー]

[躯体トレース] - [複写] - [画面間コピー]

[基本作図] - [複写] - [画面間貼付]

[電気] - [複写] - [画面間貼付]

[建築躯体] - [複写] - [画面間貼付]

[基本作図] - [属性のコピー／貼り付け]

[電気] - [鋼材]

[電気] - [支持金物]

[表示] - [ウィンドウ表示形式] - [タブ形式]

[表示] - [ウィンドウ表示形式] - [ウィンドウ形式]

[表示] - [関連コマンド]

[表示] - [レイヤ]

[表示] - [図形スタイル]

[表示] - [補正]

[画像ツール] - [画像→C A D化]

[画像ツール] - [範囲図形→文字]

[電気] - [電気シンボル] - [一括 (矩形)]

[電気] - [配置]

[電気] - [写真] - [写真原寸貼付け]

[電気] - [写真] - [写真領域指示貼付け]

[電気] - [姿図]

[電気] - [照度計算書出力]

[電気] - [照度分布図計算]

[電気] - [省略記号] - [省略記号向き変更]

[傍記] - [省略記号] - [省略記号向き変更]

[電気] - [配線] - [電線管]

[電気] - [照度分布 部屋設定]

[電気] - [隠線処理] - [隠線縦横切替]

[電気] - [負荷容量付加・編集]

[電気] - [回路情報付加・編集]

[電気] - [盤図]

[電気] - [コンクリート打込図]

[見積連動] - [工事項目設定]

[建築躯体] - [材質付加]

[建築躯体] - [材質付加] - [材質解除]

[建築躯体] - [包絡処理] - [手動包絡]

[表示] - [垂直タブグループの新規作成] - [垂直タブグループの新規作成]

[表示] - [垂直タブグループの新規作成] - [水平タブグループの新規作成]

[表示] - [ウィンドウ表示形式] - [タブ形式]

[表示] - [ウィンドウ表示形式] - [ウィンドウ形式]

[表示] - [全体表示] - [縮小]

[表示] - [全体表示] - [前倍率]



なくなったコマンド

[ホーム] - [最前面ウィンドウ] - [表示位置確認]
[基本作図] - [領域拡大] - [表示位置確認]
[電気] - [領域拡大] - [表示位置確認]
[傍記] - [領域拡大] - [表示位置確認]
[建築躯体] - [領域拡大] - [表示位置確認]
[表示] - [最前面] - [表示位置確認]

[ホーム] - [最前面ウィンドウ] - [正面]
[基本作図] - [領域拡大] - [正面]
[電気] - [領域拡大] - [正面]
[傍記] - [領域拡大] - [正面]
[建築躯体] - [領域拡大] - [正面]
[表示] - [最前面] - [正面]

[ホーム] - [最前面ウィンドウ] - [背面]
[基本作図] - [領域拡大] - [背面]
[電気] - [領域拡大] - [背面]
[傍記] - [領域拡大] - [背面]
[建築躯体] - [領域拡大] - [背面]
[表示] - [最前面] - [背面]

[ホーム] - [最前面ウィンドウ] - [右側面]
[基本作図] - [領域拡大] - [右側面]
[電気] - [領域拡大] - [右側面]
[傍記] - [領域拡大] - [右側面]
[建築躯体] - [領域拡大] - [右側面]
[表示] - [最前面] - [右側面]

[ホーム] - [最前面ウィンドウ] - [左側面]
[基本作図] - [領域拡大] - [左側面]
[電気] - [領域拡大] - [左側面]
[傍記] - [領域拡大] - [左側面]
[建築躯体] - [領域拡大] - [左側面]
[表示] - [最前面] - [左側面]

[ホーム] - [最前面ウィンドウ] - [拡大ビュー]
[基本作図] - [領域拡大] - [拡大ビュー]
[電気] - [領域拡大] - [拡大ビュー]
[傍記] - [領域拡大] - [拡大ビュー]
[建築躯体] - [領域拡大] - [拡大ビュー]
[表示] - [最前面] - [拡大ビュー]
[見積連動] - [工事項目設定]

[見積連動] - [部材情報解除]

[見積連動] - [明細記号作成]

[見積連動] - [明細記号再配置]

[見積連動] - [明細記号複写]

[見積連動] - [拾い書作成]

[見積連動] - [配線情報追加明細表作成]

[見積連動] - [フロア設定]